

豊島区子ども読書活動推進計画（第三 次）

平成 28 年度～平成 32 年度
(2016～2020)



平成 28 年 5 月
豊島区



はじめに

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするなど、人生をより豊かに生きる力を身につけるうえで欠くことのできないものです。

豊島区は、平成18年に「豊島区子ども読書活動推進計画」を10年間の計画として策定しました。また、4年後の平成22年には教育基本法改正などの社会状況をふまえて計画を修正し、第二次計画としてスタートさせました。

本計画は、第二次計画の計画期間の終了を踏まえて、今までの計画の基本理念を引き継いで、「豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）」としてスタートいたします。

近年では、インターネットや携帯電話の普及により、様々な方法で情報や資料を簡単に得ることができるようになりました。情報メディアの多様化により、子どもの読書離れだけではなく、いわゆるネット依存といった心身等への悪影響も懸念されています。

このため、第三次計画は、子どもの読書習慣の確立に大きな影響をもつ家庭の読書活動を支援すること、学年が上がるにつれて読書活動が減少する中高生の読書活動の支援を行うことの二つに重点をおいて、計画事業を進めていくことにしました。

新たな事業計画では子どもの読書活動の充実に向けて、身近な子どもの読書環境の整備や、子どもの読書活動への働きかけなど、区立図書館をはじめ、区立小学校、区立中学校、幼稚園、保育所、区民ひろば等、子どもが関わる様々な部署と緊密に連携し、ご家庭の皆さまの協力を得ながら進めていきます。

平成28年5月

豊島区長

高野之史

<目次>

第1章 計画の基本的な考え方	1
1 理念と目的	1
2 計画策定の背景	1
3 国及び東京都の動向	2
（1）国の動向	2
（2）東京都の動向	3
4 計画の位置づけ	3
（1）国・東京都の計画との連携	3
（2）区の計画との整合性	4
5 対象となる子どもの年齢	4
6 計画期間	4
7 計画の目標	4
第2章 子どもと読書環境	5
1 子どもの年齢別人口動態	5
2 子どもの読書活動実態調査の概要	6
（1）読書時間とその他の行動	6
（2）読書の意識	8
（3）読書の環境	11
3 第二次推進計画の施策と進捗状況	13
4 第二次計画数値目標の達成状況	13
（1）図書館における子どもの利用登録率	13
（2）読書が好きな児童・生徒の割合	13
（3）普段の読書量	14
（4）1週間あたりの読書時間	14
5 重点事業の取組み成果	14
6 乳幼児施策の取組み成果	16

第3章 施策の方向	18
1 施策の体系	18
2 施策の体系と主な事業	19
3 第三次推進計画の重点分野と主な取組み	20
(1) 乳幼児の読書環境の充実	20
(2) 小学生の読書環境の充実	20
(3) YA世代(中学生・高校生)の読書環境の充実	21
4 数値目標	21
(1) 子どもの図書貸出冊数	21
(2) 1か月の平均読書冊数	22
(3) 中学生・高校生の1日の平均読書時間	23
第4章 計画事業	24
I 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	24
(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業	24
(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発	25
(3) 子ども施設の職員等への啓発	28
II 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実	29
(1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備	29
(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実	34
(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策	43
III 計画事業一覧	46
第5章 計画の推進に向けて	67
1 計画の進捗管理	67
2 関係機関との連携強化	67
3 人材の養成と育成	67
＜資料編＞	
策定委員会審議経過	68
策定委員名簿	69
作業部会審議経過	70
作業部会名簿	71
図書館配置図	72
用語解説	73
子どもの読書活動の推進に関する法律	79

第1章 計画の基本的な考え方

1 理念と目的

読書をすることにより、子どもは、今までとは違った広い世界を知り、発見や感動、自分なりの考えを持つことを体験します。そして、その体験によって、子どもは視野を広げ、自分の考えや判断力を培い、豊かな感情や心を育てていきます。

このように、読書が果たす役割は、子どもが自分の将来に夢を持ち、自己実現を図っていく上で極めて重要なことであり、そのためには、子どものうちから読書習慣を身に付けることが必要とされています。

「豊島区子ども読書活動推進計画」（第三次）（以下、「第三次推進計画」という。）は、「一人ひとりの子どもが素晴らしい本と出会うことで、読書の魅力を発見する機会を提供し、生涯にわたる読書習慣を身に付けられるよう、発達段階に応じた読書機会の提供と読書環境の整備を図る」という、第一次及び第二次推進計画で掲げた理念、目的を引継ぎ、子ども読書活動推進のための施策の方向性や取組みを示すものです。

2 計画策定の背景

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（以下、「推進法」という。）が公布・施行され、国に、子どもの読書活動推進に関する基本的な計画を策定することを義務付けるとともに、都道府県や市区町村にも施策推進のための計画の策定に努めるよう定めました。

法律を受けて、国は平成14年8月に「子どもの読書活動に関する基本的な計画」を策定し、計画期間5年間の施策の基本方針を示しました。また、これを受けて東京都は、平成15年3月に「東京都子供読書活動推進計画」を策定し、5年間の計画期間の施策を示して推進してきました。国及び東京都は、現在第三次計画を策定して施策を推進しています。

国は、この間、平成17年7月に「文字・活字文化振興法」を制定し、平成18年12月には教育基本法、平成19年には学校教育法、平成20年には社会教育法、図書館法をそれぞれ改正しました。

豊島区は、こうした国や都の動きを受けて、平成18年3月に、平成27年度までの10年間を計画期間とする「子ども読書活動推進計画」を策定して施策を総合的に推進してきており、4年後の平成22年3月には、子どもの読書環境を取り巻く社会環境の変化に応じて計画を修正し、第二次計画として引き続き施策を推進してきました。

3 国及び東京都の動向

(1) 国の動向

国は、平成25年5月に「第三次子ども読書活動推進基本計画」を策定し、不読率の改善と市町村推進計画の策定率の向上を目指して、関係府省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を更に強化し施策の効果的な推進を図るとともに、子どもと本をつなぐネットワーク活動に対する体制整備の推進を支援するとしています。

- 不読率（1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合）（(社)全国学校図書館協議会の平成24年度学校読書調査）縮小の目標値
 今後10年間で不読率の「半減」を目指すとし、以下の目標値を掲げています。

	H24	H29(計画期間)	H34(10年間)
小学生	4.5%	3%以下	2%以下
中学生	16.4%	12%以下	8%以下
高校生	53.2%	40%以下	26%以下

- 市町村推進計画の策定率（「平成23年度都道府県及び市町村における『子ども読書活動推進計画』の策定状況に関する調査」文部科学省）

	H23	H29
市	71%	100%
町村	39%	70%以上

(2) 東京都の動向

東京都は、平成27年2月に「第三次東京都子供読書活動推進計画」を策定し、不読率の更なる改善、読書の質の向上、読書環境の整備を目標に、乳幼児、小・中学生、高校生等、特別な支援を必要とする児童・生徒のそれぞれを対象とする取組みを推進していくとともに、オリンピック・パラリンピック開催を見据えた読書活動を推進していくものとしています。

○不読率（平成25年度「児童・生徒の読書活動状況等に関する調査」東京都教育庁地域教育支援部）縮小の目標値

	H25	H31	H35
小2	2.6%	1.8%	1.3%
小5	5.4%	3.8%	2.7%
中2	13.2%	9.2%	6.6%
高2	31.8%	22.3%	15.9%

4 計画の位置づけ

(1) 国・東京都の計画との連携

推進法は、子どもの読書活動に関して、国に基本的な計画を策定しなければならない（推進法第8条）としています。また、都道府県は国の基本計画を基本に、都道府県の状況を踏まえて都道府県の計画を策定するよう努めなければならない（推進法第9条第1項）としています。

また、市区町村は、国の基本計画及び都道府県の推進計画を基本とし、市区町村の推進状況を踏まえて市区町村の計画を策定するよう努めなければならない（推進法第9条第2項）としています。

区の第三次推進計画は、国や都と連携を図りつつ、国の「第三次子ども読書活動推進基本計画」、都の「第三次東京都子供読書活動推進計画」を基本とするとともに区の推進状況を踏まえ、策定しました。

本計画は、推進法第9条第2項に基づく、市町村子ども読書活動推進計画に位置づけられます。

(2) 区の計画との整合性

豊島区では、平成28年3月に「豊島区基本計画」を策定しました。この第三次推進計画は、豊島区基本計画を補完する子ども読書活動分野の総合計画に位置づけられます。

また、平成27年3月に豊島区教育委員会で改定された「豊島区教育ビジョン2015－豊島区教育振興基本計画－」、同じく平成27年3月に改定された「豊島区子どもプラン（豊島区子ども・子育て支援事業計画）」をはじめ関連する計画との整合性を図っています。

5 対象となる子どもの年齢

この計画における「子ども」とは、0歳児からおおむね18歳までの者を言います。

6 計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

7 計画の目標

豊島区の子どもたちの読書活動や読書環境の現状を踏まえ、次の目標を掲げます。

(1) 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

保護者や学校の教職員、関係機関の職員など子どもの生活に深く関わりを持つ大人が読書活動への理解と関心を深められるよう、子どもの読書活動の意義や大切さについて普及・啓発に努めます。

(2) 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

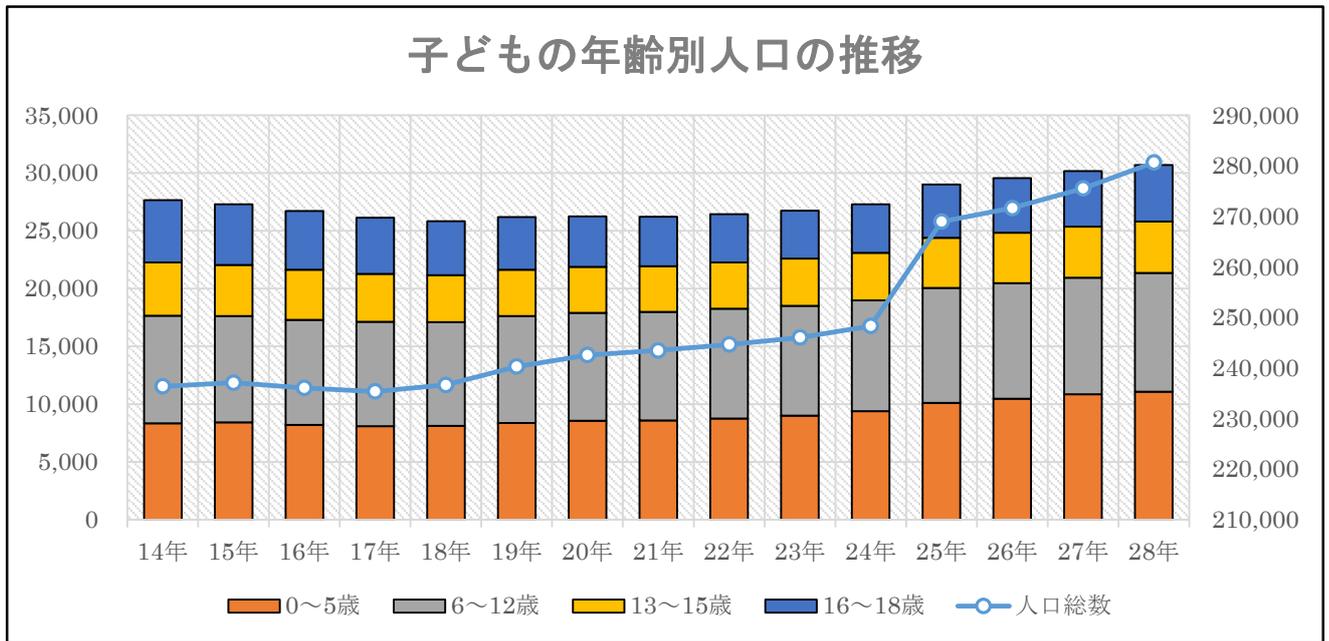
子どもが読書習慣を身につけることができるように、家庭・地域・区立図書館などで、子どもの発達段階に合わせた読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実を図っていきます。

第2章 子どもと読書環境

1 子どもの年齢別人口動態

豊島区の人口は、平成28年1月現在280,639人（うち外国人人口は24,540人）となっていて、子どもの人口は増加傾向にあります。 単位：人

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全人口	240,275	242,557	243,462	244,637	246,029	248,299	268,959	271,643	275,507	280,639
子ども人口	26,171	26,244	26,220	26,430	26,746	27,301	28,996	29,540	30,169	30,686
16～18歳	4,536	4,373	4,282	4,158	4,159	4,201	4,598	4,721	4,829	4,887
13～15歳	4,014	3,963	3,970	4,006	4,073	4,141	4,359	4,366	4,402	4,464
6～12歳	9,260	9,353	9,394	9,505	9,508	9,561	9,923	9,981	10,076	10,254
0～5歳	8,361	8,555	8,574	8,761	9,006	9,398	10,116	10,472	10,862	11,081



- ※ 左目盛りは豊島区の子どもの年齢別人口の数値（単位：人）で、右目盛りは豊島区の人口総数の数値(単位：人)です。
- ※ 各年1月1日の住民基本台帳の数値です。
- ※ 平成24年7月9日住民基本台帳法の改正にともない、平成25年の数値から外国人人口を含みます。

2 子どもの読書活動実態調査の概要（平成26年度実施「読書活動に関する実態調査」）

【調査の概要】

- 1 実施時期 平成26年6月24日～7月18日
- 2 調査の対象
 - ①区立小学校（10校）の2年生と5年生
 - ②区立中学校（6校）の2年生
 - ③都立高校（2校）の2年生
 - ④上記①②③の保護者
- 3 調査方法
 - ①②③学校を通じて配布及び回収
 - ④児童・生徒より手渡しにより保護者に配布し、郵送にて回収
- 4 配布数と回収結果

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
①小学生	1,199人	1,199人	100%
②中学生	571人	571人	100%
③高校生	613人	613人	100%
④保護者	2,429人	878人	36.1%
合計	4,812人	3,261人	67.7%

（1）読書時間とその他の行動

①1日の平均読書時間

読書時間	小学生	中学生	高校生
0分	4.6%	20.3%	37.4%
1～10分	10.7%	8.2%	5.1%
11～20分	10.8%	6.5%	3.4%
21～30分	19.7%	25.9%	25.0%
31～60分	19.9%	20.1%	19.1%
61～120分	23.3%	11.0%	7.2%
121～180分	5.3%	4.6%	1.3%
181分以上	5.1%	3.2%	0.7%
回答なし	0.7%	0.2%	1.0%
平均	62.3分	50.1分	32.2分

※中学・高校生の読書時間は、学校の授業を除いています。

②学校が終わってからの行動

小学生		中学生		高校生	
項目	%	項目	分	項目	分
勉強・宿題・塾・ 習い事	90.2	テレビやDVDを 見る	123.0	テレビや DVD を見る	90.4
友だちと遊ぶ	67.7	スポーツなど体 を動かす	88.3	スポーツなど体 を動かす	84.2
テレビや DVD を見る	47.0	勉強・宿題・塾	76.1	メール・ラインを する	70.1
本・マンガ・雑 誌を読む	45.9	メール・ラインを する	62.9	勉強・宿題・塾	59.5
ゲームをする	38.7	ゲームをする	61.2	インターネット をする	45.6
インターネット をする	14.1	インターネット をする	59.8	本・マンガ等を読 む	32.2
その他	10.1	本・マンガ等を読 む	50.1	ゲームをする	30.5
無回答	0.3	—	—	—	—

【子ども読書活動実態調査より】

1日の平均読書時間は、小学生 62.3分、中学生 50.1分、高校生 32.2分と学年が上がるに従い読書時間が減る傾向がみられます。

また、学校が終わってからの行動では、小学生は「勉強や宿題や塾・習い事」がトップですが、中学生、高校生はともにテレビや DVD を見る時間が最も多く、中学生で 123.0分、高校生で 90.4分となっています。

⇒ 多様な活動選択肢のある中学生・高校生が読書の時間を増やせるように **重点分野Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実** **(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実** に反映させます。

(2) 読書の意識

①読書が好きかどうか

区 分	小学生	中学生	高校生
好き	88.3%	47.6%	44.7%
どちらかといえば好き	-	30.3%	31.8%
好き(合計)	88.3%	77.9%	76.5%

②本を好きになった時期

区 分	中学生	高校生
小学校入学前から	16.9%	17.3%
小学校低学年の頃から	16.0%	24.3%
小学校高学年の頃から	33.9%	19.2%
中学生の頃から	18.7%	20.0%
高校生の頃から	0.0%	4.7%
覚えていない	14.4%	14.5%
無回答	0.2%	0.0%

③本を好きになった最大のきっかけ

中学生	%	高校生	%
①家に本があったこと	18.4	①家に本があったこと	18.6
②わからない	13.5	②わからない	15.1
③友だちから本のすすめがあったこと	11.9	③親や家族からの本のすすめや読み聞かせがあったこと	12.6

④1 か月の平均読書冊数

区 分	小学生	中学生	高校生
0冊	1.3%	6.7%	16.3%
1冊	3.0%	7.7%	10.6%
2～3冊	7.4%	15.6%	25.5%
4～5冊	8.9%	15.1%	13.4%
6～10冊	22.2%	22.6%	16.6%
11～20冊	23.7%	17.3%	9.0%
21冊以上	33.2%	14.4%	7.4%
無回答	0.4%	0.7%	1.3%
平均	22.6冊	13.1冊	6.7冊

⑤本（書籍）を読まない理由

中学生	%	高校生	%
①読みたい本がないから	40.1	①他のこと（部活動、塾、 習い事等）で忙しくて本 を読む時間がないから	39.8
②マンガ、雑誌などの方が面 白いから	35.0	②読みたい本がないから	30.5
②ゲームなど他の遊びの方が 楽しいから	35.0	③マンガ、雑誌などの方が 面白いから	20.6

※「マンガ」「学習参考書・図鑑」「雑誌」以外の書籍・絵本について、複数回答で質問しています。

【子ども読書活動実態調査より】

読書が好きな割合は、小学生は9割近く、中学生や高校生は7割台半ばです。本を好きになった時期は、中学生は「小学校高学年の頃から」、高校生は「小学校低学年の頃から」が最も多くなっています。

1か月の平均読書冊数は、小学生 22.6 冊、中学生 13.1 冊、高校生 6.7 冊と学年が上がるに従い読書冊数が減る傾向です。また、本（書籍）を読まない理由については、中学生は「読みたい本がないから」、高校生は「他のことで忙しくて本を読む時間がないから」が最も多くなっています。

⇒ 読書が好きな児童・生徒の育成には小学生での読書活動の取組みが重要になってきます。また、YA世代（中学生や高校生）の読書傾向をとらえた選書を心がけるなど **重点分野Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実（1）子どもが身近で本にふれることができる環境の整備（2）子どもと本をつなぐ施策の充実** に反映させます。

また、本を好きになった最大のきっかけについては、中学生、高校生ともに「家に本があったこと」が最も多くなっています。

⇒ 家庭に本がある環境は、読書が好きな児童・生徒のきっかけにつながる傾向がみられることから **重点分野Ⅰ 子ども読書活動の意義や大切さの普及・啓発（2）保護者や家庭に対する普及・啓発** に反映させます。

(3) 読書の環境

①本を選んでくれる・すすめてくれる人

小学生	%	中学生	%	高校生	%
①家族	56.5	①特にいない	40.8	①友だちや学校の先輩・後輩	42.3
②友だちや上級生・下級生	29.8	②家族	36.3	②特にいない	37.8
③特にいない	25.9	③友だちや学校の先輩・後輩	34.3	③家族	30.2

※複数回答で質問しています。

②読みたい本の入手方法

小学生	%	中学生	%	高校生	%
①家族に買ってもらう	68.4	①自分のおこづかいで買う	59.7	①自分のおこづかいで買う	69.8
②学校の図書室で借りる	58.2	②親や家族に買ってもらう	56.0	②人から借りる・もらう	33.9
③区の図書館で借りる	47.4	③人から借りる・もらう	32.4	③親や家族に買ってもらう	29.7

※複数回答で質問しています。

③保護者の読書の頻度（保護者アンケート）

区分	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者
ほぼ毎日	23.8%	28.1%	25.3%
1週間に4～5日	6.3%	4.3%	5.7%
1週間に2～3日	19.0%	20.0%	24.1%
1週間に1日	8.8%	4.3%	8.6%
1か月間に数日	21.5%	19.5%	19.0%
ほとんど読まない	19.6%	23.8%	16.7%
無回答	1.0%	0.0%	0.6%

④子どもの読書促進に効果的と思う環境（保護者アンケート）

小学生	%	中学生	%	高校生	%
①家庭での読書環境を整える	58.7	①家庭での読書環境を整える	51.4	①家庭での読書環境を整える	49.4
②学校での読書時間を増やす	21.3	②学校での読書時間を増やす	21.1	②学校での読書時間を増やす	29.3
③学校の図書室を充実させる	9.0	③学校の図書室を充実させる	15.1	③学校の図書室を充実させる	5.7

※複数回答で質問しています。

【子ども読書活動実態調査より】

本を選んでくれる人・すすめてくれる人は、学年が小さいほど「家族」が多く、学年が上がるに従い「友だちや学校の先輩・後輩」が多くなる傾向がみられます。

保護者の読書頻度は、「ほぼ毎日」がいずれの保護者も2割台です。また、子どもの読書環境促進に効果的と思う環境については、小学生、中学生、高校生の保護者のいずれも「家庭での読書環境を整える」が最も多く、「学校での読書時間を増やす」が続きます。

⇒ 家族が本を読んでもらったり、すすめてくれたりするなど子どもの読書の環境は、家庭や家族の影響が大きいようです。 **重点分野Ⅰ 子ども読書活動の意義や大切さの普及・啓発（2）保護者や家庭に対する普及・啓発** に反映させます。

また、読みたい本の入手方法は、学年が上がるに従い「自分のおこづかいで買う」、「人から借りる・もらう」が多くなる傾向があります。一方、「公共図書館で借りる/利用する」は、中学生・高校生は小学生の半分程度です。

⇒ 小学生やYA世代（中学生や高校生）の学校図書館や公共図書館の利用を促すためになど **重点分野Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実（2）子どもと本をつなぐ施策の充実** に反映させます。

3 第二次推進計画の施策と進捗状況（平成27年度末現在）

（ ）は重点事業

部門区分と事業数		進捗状況		
部門区分	事業数	実施	未実施	進捗率
I 子どもと本をつなぐ体制づくり	74 (10)	74	0	100%
家庭・地域における読書活動の推進	13 (2)	13	0	100%
区立図書館における読書活動の推進	29 (4)	29	0	100%
学校における読書活動の推進	11 (4)	11	0	100%
保育園・区民ひろば等における読書活動の推進	21 (0)	21	0	100%
II 読書活動のための啓発やPR	12 (0)	12	0	100%
合計	86 (10)	86	0	100%

4 第二次計画数値目標の達成状況

(1) 図書館における子どもの利用登録率

区分	計画の目標値 (27年度)	登録率の現状値 (28年1月1日)	目標値と現状値の 比較	<参考> 目標設定時の調査値 (平成21年1月)
0～6歳	26.0%	12.8%	▲13.2%	17.0%
7～12歳	90.0%	64.8%	▲25.2%	70.6%
13～15歳	77.0%	61.6%	▲15.4%	59.1%
16～18歳	70.0%	52.2%	▲17.8%	40.9%

(2) 読書が好きな児童・生徒の割合

区分	計画の目標値 (27年度)	実態調査の結果 (26年7月)	目標値と現状値の 比較	<参考> 目標設定時の調査値 (21年1月)
児童（区立小学校）	96.0%	88.3%	▲7.7%	81.8%
生徒（区立中学校）	81.0%	77.9%	▲3.1%	77.8%

(3) 普段の読書量（週2～3回以上の割合）

区分	計画の目標値 (27年度)	実態調査の結果 (26年7月)	目標値と現状値 の比較	<参考> 目標設定時の調 査値 (21年1月)
児童（区立小学校）	78.0%	80.4%	2.4%	63.8%
生徒（区立中学校）	62.0%	68.9%	6.9%	58.0%

(4) 1週間あたりの読書時間（3時間以上）

区分	計画の目標値 (27年度)	実態調査の結果 (26年7月)	目標値と現状値 の比較	<参考> 目標設定時の調 査値 (21年1月)
児童（区立小学校）	34.0%	72.1%	38.1%	18.5%
生徒（区立中学校）	21.0%	38.2%	17.2%	13.6%

※（1）～（4）の「目標設定時の調査値」は、平成20年度に実施した「基礎的・基本的な内容の定着及び学習スキルに関する調査結果報告」の『読書・コミュニケーションに関する調査』より引用しました。

※ 現状値が目標値を上回った数値は網掛けで表示しました。

5 重点事業の取組み成果

【区立図書館】

◆重点事業1 ボランティア人材バンクによるボランティアの活用

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
養成	18人	20人	19人	
派遣回数	31回	110回	154回	210回
派遣人数	90人	352人	500人	617人
参加人数	750人	1,358人	4,093人	5,446人

○登録者数 39人（平成27年4月）

○派遣対象 区民ひろば、子どもスキップ、区立保育園

◆重点事業2 点訳・音訳ボランティアの育成及び活動支援

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
点訳養成	4人		8人		4人
音訳養成		5人		0人	

○点訳ボランティア登録者数 45人（平成27年4月）

○音訳ボランティア登録者数 51人（平成27年4月）

※点訳：文字情報を、その内容にできるだけ忠実に点字に置き換えることです。

※音訳：文字・図・表等をできる限り忠実に音声化することです。

◆重点事業3 幼児・小学生向け行事の開催

○小学生向け行事の実施

・「図書館タンテイ」を7月夏休み中に全館で実施（平成23年度～）

平成26年度 参加者数延 1,671人

・「本の福袋」を12月～2月頃新しい試みとして実施（平成24年度～）

平成26年度 貸出数 378セット

◆重点事業4 子ども向け図書や資料の充実

○ブックリストの作成・配布

・小学生向けブックリスト『よんでみよう』作成・配布（平成20年度～）

・10代向けブックリスト『オスパラ』作成・配布（平成25年度～）

○団体貸出セットの充実（平成21年度～平成24年度）

小学校31テーマ、中学校14テーマについて資料を充実

◆重点事業5 学校への支援・連携

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
団体貸出	40,312冊	42,257冊	62,592冊	46,962冊	34,337冊
学校訪問	144回	124回	104回	130回	128回
学級招待	25回	26回	28回	16回	9回

○団体貸出の充実（幼稚園・小学校・中学校）

○学校訪問（区立小・中学校）

○学級招待（区立小学校）

◆重点事業6 「としょねっと便」の運行

○運行開始（平成21年度） 区立図書館と区立小・中学校、区立図書館と六大学の間の図書資料の貸出・返却のための資料運搬

○拡充（平成22年度～） 区立図書館と区立幼稚園との間の運搬に拡大

【区立小学校・中学校】

◆重点事業7 学校司書の配置

平成24年度 小学校10校、中学校3校に配置

平成25年度 小学校13校、中学校5校に配置拡大、各校月4日間配置

◆重点事業8 データベース化の検討

平成24年度 小学校10校、中学校3校に導入

平成25年度 小学校13校、中学校5校に導入し、全校に整備完了

◆重点事業9 図書の整備・充実

○学校図書標準の整備（整備割合）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	8校	10校	7校	10校
中学校	3校	2校	3校	5校
割合	35.4%	38.7%	32.3%	50.0%

◆重点事業10 学校図書館の機能強化

○図書館司書の配置 平成25年度区立小・中学校全校配置

○「学習情報センター」としての機能強化

6 乳幼児施策の取組み成果

平成26年度実施「読書活動に関する実態調査」において調査対象としなかった乳幼児について、乳幼児に関する読書活動施策の現況について概略を掲載します。

① 区民ひろばの子育てひろばに本のコーナーを設置、読み聞かせ等の実施

【地域区民ひろば課】

区民ひろばの子育てひろばに本のコーナーを設置。乳幼児プログラムで、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター等の実施。

② 乳幼児向けブックリストの作成・配布【図書館課】

『ねえ、よんで』（0～2歳むき）、『ほんのしまとしま』（3～6歳むき）の作成配布。図書館、幼稚園、保育園、保健所の検診時などに配布。

③ボランティア人材バンクの読み聞かせボランティアの育成と子ども施設への派遣【図書館課】

平成26年度 読み聞かせボランティア登録人数47名。区民ひろば、保育園、子どもスキップに延べ210回の派遣。

④区立幼稚園の本のコーナーの充実、絵本の園児や保護者への貸出、保護者による絵本の読み聞かせの実施【区立幼稚園】

区立幼稚園各園に本のコーナーを設置して図書館の団体貸出を活用して本を充実させた。週1回園児や保護者への本の貸出を行い、月1回保護者による絵本の読み聞かせ会を実施している。

⑤保健所に絵本コーナーを設置し、乳幼児の各種健診時にブックリスト（図書館課作成）を配布【保健所】

1歳6か月児健診、育児相談の際、コーナーで絵本にふれるとともにブックリスト『ねえ、よんで』を配布。

⑥子ども家庭支援センターに本のコーナーを設けるとともに、ボランティアによる絵本の読み聞かせ、講座受講者等への絵本のプレゼントを実施【子育て支援課（子ども家庭支援センター）】

子ども家庭支援センターに本と読書のコーナーを設置。地域の読書ボランティアや区立図書館による絵本の読み聞かせの実施。育児訪問事業バースデイ訪問や各種講座参加者に絵本をプレゼント。

⑦保育園に図書コーナーを設置し、園児や保護者への図書貸出、ボランティア等による絵本の読み聞かせの実施【保育課】

図書館の団体貸出を活用して本のコーナーを充実させる。園児や保護者への貸出を行う。年間指導計画で日常的に本の読み聞かせを行うとともに、地域ボランティアや図書館のボランティアの活用による読み聞かせ等を実施。

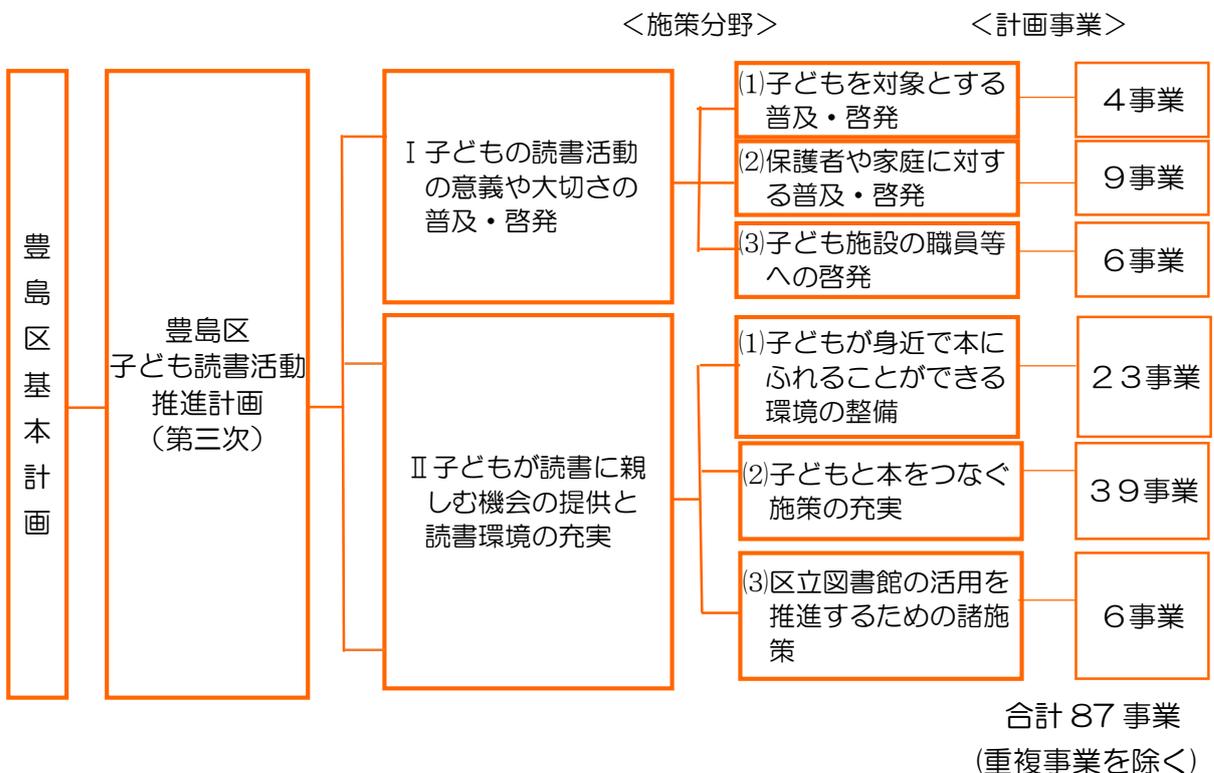
第3章 施策の方向

1 施策の体系

「豊島区子ども読書活動推進計画」(第三次)は、豊島区基本計画を補完し、子ども読書活動分野の諸施策を総合的にとりまとめたものです。

第三次推進計画の諸施策の体系的な整理は、子どもの読書活動の意義や大切さを普及・啓発する事業分野と、子どもの読書環境を充実・整備する事業分野に大きく分類することとします。

子どもの読書活動の意義や大切さを普及・啓発は、子どもを対象とする普及・啓発、保護者や家庭に対する普及・啓発、子ども施設の職員等への啓発の三つに分類することとします。また、子どもの読書環境の充実・整備は、子どもが身近で本に触れることができる環境の整備、子どもと本をつなぐ施策の充実、区立図書館の活用を推進するための諸施策の三つに分類し、それぞれ「乳幼児」「小学生」「中学生」「高校生」「特別な支援を必要とする子ども」別に分類・整理するものとします。



2 施策の体系と主な事業

子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

子どもを対象とする普及・啓発事業

- 子ども向け図書館利用案内の作成・配布
- 子ども向け各種記念行事の実施
- 区立小・中学校 RC フェスタの開催

保護者や家庭に対する普及・啓発

- ★乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布
- ★子育てインフォメーション活用による図書館利用の促進
- ★大人のための子どもの読書を考える講座の開催
- ★子どもスキップ保護者会等における啓発
- ★保育園を通じた保護者に対する子どもの読書に関する啓発
- ★保護者会等を通じた児童の読書活動に関する啓発
- ★「鬼子母神 plus」における図書コーナーの設置による啓発

子ども施設の職員等への啓発

- 区立図書館の講習会を活用した職員のスキルアップ
- 読書に関する講習会の開催
- 子どもの読書に関する講習会の開催

子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

子どもが身近で本にふれることができる環境の整備

- ★子ども家庭支援センターの絵本コーナーの充実
- ★保育園の蔵書の家庭への貸出
- ★幼稚園の蔵書の家庭への貸出
- ★オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進
- ★学校図書標準を基準とした学校図書館図書資料の充実
- ★学級文庫の実施・充実
- ★マルチメディアページの充実

子どもと本をつなぐ施策の充実

- ★区立図書館の読み聞かせボランティア活用による読書環境の充実
- ★絵本のプレゼントの実施
- ★小学生向け行事の実施
- ★読書通帳の配布による読書のきっかけづくり
- ★学校司書を配置し学校図書館を充実させる
- ★学校図書館への区立図書館司書の活用
- ★学校訪問・職場体験等による学校支援
- ★YA向け読書活動促進行事の実施
- ★朝読書の実施などによる読書習慣の形成
- ★ビブリオバトル等の実施による読書活動の促進
- ★図書委員会や図書委員の活動を活発にして生徒の読書活動の推進を図る
- ★プライベート読書時間の設定による読書活動の推進を図る
- ★学校訪問によるブックトーク等の実施
- ★マルチメディアページ活用による読書支援

区立図書館の活用を推進するための諸施策

- 「としょねっと便」の運行
- 団体登録貸出制度による児童書の貸出
- ブックリストの配布

★= 重点事業

3 第三次推進計画の重点分野と主な取組み

第三次推進計画の施策の重点分野は、平成26年度に実施した「読書活動に関する実態調査」の結果や国と東京都の動向を踏まえ、家庭における読書環境充実にかかる支援施策と、小・中学生や高校生の読書活動推進にかかる諸施策に視点をあてることとします。

(1) 乳幼児の読書環境の充実

乳幼児期の読書に親しむ環境と機会の充実を支援するために、区内の子ども施設（地域区民ひろばの子育てひろば、保育所、子ども家庭支援センター等）における読み聞かせ活動等の充実を図ります。こうした施策の充実により、家庭における読み聞かせなど本と子どもを結び付けるきっかけづくりを行います。

- 5 乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布【図書館課・保健所】(p.25)
- 13 「鬼子母神 Plus」における図書コーナーの設置【池袋保健所】(p.27)
- 46 読み聞かせボランティアの養成と子ども施設への派遣【図書館課】(p.35)

(2) 小学生の読書環境の充実

図書館資料の団体貸出、学校訪問・学級招待による図書館利用の促進、ブックトークの実施等、従来の図書館による学校支援事業にとどまらず、学級担任、司書教諭とのコミュニケーションの充実、学校図書館活動の支援等、学校と図書館の連携をさらに強化し、児童の本や読書に関わるさまざまな活動を支援していくとともに、学校図書館や区立図書館の利用拡大にも結び付けていきます。

- 34 オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進【図書館課】(p.31)
- 59 読書通帳の配布【図書館課】(p.38)
- 70 学校図書館への区立図書館司書の活用【図書館課】(p.40)

(3) Y A世代（中学生・高校生）の読書環境の充実

パソコンやスマートフォンにより本を読む読書の普及もみられますが、ゲームやライン、メールなどへの時間の拡大も大きく、教養や知識を修得するための読書の役割は年齢に関わりなく大きいものがあると考えられます。社会に出てからの、現代社会を飛び交う情報の中から有用な情報をしっかり受け止める基本的な力を養ううえでも、書物による読書の価値は高いものとなっています。

中学生・高校生等Y A世代を対象に、読書への興味や意欲を高める図書館のレイアウトや企画展示を実施していくとともに、区内高校へ出向いて行うブックトークの実施、各種イベントや事業の実施を検討していきます。

- 68 Y A向け読書活動促進行事の実施（仕掛け絵本を知るワークショップ）【図書館課】（p.40）
- 73 図書委員会活動の活性化による読書活動の強化【指導課・中学校】（p.41）
- 74 プライベート読書時間の設定【指導課・中学校】（p.41）
- 75 Y A向け読書活動促進行事の実施（ビブリオバトル）【図書館課】（p.42）

4 数値目標

(1) 子どもの図書貸出冊数

区立図書館の子どもの図書（児童書・Y A書）の貸出冊数は、一般の家庭における児童への貸出だけではなく、公立・私立を問わない幼稚園・保育園その他の登録団体の団体貸出、また小学校・中学校の団体貸出も含まれており、豊島区の児童全体の読書の傾向を把握する一つの指標となりうるものです。そこで、児童書の貸出冊数5%増を目標とします。貸出冊数の5%拡大は、豊島区基本計画における図書館事業の成果指標である「貸出冊数総数」の増加目標率と連動させました。

また、学校図書館の図書貸出冊数も小中学生の読書活動の中心となるものであるため、読書傾向を把握する指標として目標に掲げるものとし、目標値は同様に5%増とします。

○区立図書館の子どもの図書貸出冊数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 32 年度
YA書	75,993 冊	80,384 冊	81,500 冊	74,259 冊	68,846 冊	73,000 冊
児童書	286,102 冊	281,953 冊	272,313 冊	281,357 冊	263,513 冊	277,000 冊
合計	362,095 冊	362,337 冊	353,813 冊	355,616 冊	332,359 冊	350,000 冊

(出典：「豊島の図書館」)

○学校図書館の図書貸出冊数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 32 年度
小学校	184,090 冊	212,810 冊	224,000 冊
中学校	7,793 冊	9,824 冊	11,000 冊
合計	191,883 冊	222,634 冊	235,000 冊

(出典：各年度「豊島区学校図書館各校貸出冊数」)

※貸出冊数の統計数値は、学校図書館司書を全校配置した平成 25 年度以降集計を開始しました。

(2) 1 か月の平均読書冊数

小学生、中学生、高校生の 1 か月の平均読書冊数を 5% 程度上昇させることを目標とし、小学生は 5% 増の数値、中学生及び高校生の読書活動の推進は重点施策分野と位置づけるため、それぞれ 6% 増の数値を目標値と設定します。

	平成 26 年度調査	目標値 (平成 31 年度調査)
小学生	22.6 冊	23.7 冊
中学生	13.1 冊	13.9 冊
高校生	6.7 冊	7.1 冊

(出典：平成 26 年度実施「読書活動に関する実態調査」図書館課)

(3) 中学生・高校生の1日の平均読書時間

YA（中学生・高校生）世代の読書活動の推進を重点施策の分野とするところから、「読書活動に関する実態調査」の数値に着目し、特に中学生・高校生の1日の平均読書時間のうち「0分（読まない）」の数値を3分の1小さくすることを目標とします。

○1日の平均読書時間のうち「0分（読まない）」の割合

	平成26年度調査	目標値（平成31年度調査）
中学生	20.3%	13.5%
高校生	37.4%	24.9%

（出典；平成26年度実施「読書活動に関する実態調査」図書館課）

第4章 計画事業

I 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発



区立図書館をはじめ、子どもに関係する部署で、実施する事業等を通じて、子どもや保護者、また子どもの施策に関係する団体等へ、子どもの読書活動の意義や大切さ、また楽しさについて、積極的に周知・啓発を図っていきます。

※ 凡例 ; 事業名称【担当部署】

重点事業

new

新規事業

(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業

1 子ども向け図書館利用案内の作成・配布【図書館課】

『豊島区立図書館 利用案内』を〈小学校・幼稚園版〉と〈中学校版〉(新規)を作成し、幼稚園、保育園、区立小・中学校へ配布し、区立図書館の利用を促進します。

2 子ども向け各種記念行事の実施【図書館課】

子ども読書の日(4月23日)や文字・活字文化の日(10月27日)などの記念の日にちなむ行事を実施し、8月中旬には平和普及事業として関連図書の企画展示などをして、記念の日の意義や図書を周知・啓発します。

〈実績〉 平成 26 年度 「子ども読書の日記念事業」おはなし会 6館97人、
「平和普及事業」映画会3人・おはなし会5人・特集展示、「文字・活字文化の日記念事業」おはなし会 6館49人

3 区立小・中学校RCフェスタの開催【指導課】

教育委員会が、区立小・中学校、区立図書館と連携して、教育委員会推薦図書の普及・啓発、本との出会いや読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図ることを目的に「RC(Reading and Communication)フェスタ」を開催します。読書感想文コンクールやおすすめの本の紹介カードコンクールの入選作および英語活動の発表等で構成します。

〈実績〉 平成 26 年度 読書感想文コンクール、おすすめ本の紹介カードコンクール、英語活動の発表等を実施

4 点字図書館サービスのPR【図書館課】

点字図書館サービス（点訳・音訳・対面朗読サービス等）を紹介するパンフレットやCDを作成・配布し、特別な支援を必要とする子どもの利用を促進します。

(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発

5 乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布

【図書館課・保健所】

池袋保健所の「パパ・ママ準備教室」と長崎健康相談所の「1歳6か月児健診」の機会に、乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、あわせてブックリスト『ねえ、よんで』（0・1・2歳むき）、『ほんのしまとしま』（3～6歳むき）を配布して本との関わりの楽しさを伝えます。また、乳幼児健診や3歳児健診など定期健診の待合室に、ブックリストに掲載の絵本のコーナーを設置しています。

＜実績＞平成26年度「パパ・ママ準備教室」10回共催、「1歳6か月児健診」12回共催。



◀ ブックリスト

『ねえ、よんで』（0・1・2歳むき）

『ほんのしまとしま』（3～6歳むき）

『よんでみよう』（小学生むき）

6 ブックリストの作成・配布【図書館課】

乳幼児及び児童向けブックリストを作成し、保育園、幼稚園、区立小学校等に配布するとともに、図書館で開催する行事などの機会に子どもや保護者に配布して読書の啓発を図ります。

new

7 子育てインフォメーション活用による図書館利用の促進【図書館課】

子育て中の保護者への情報発信として、子育てインフォメーション(※)と連携して、図書館で主催する行事のパンフレットやブックリストを配布して、読書活動や図書館の利用を促進します。



「子育てインフォメーション」とは

新庁舎の総合福祉フロア（4階）に子育て総合相談窓口として「子育てインフォメーション」があります。専用スペースに「子育てナビゲーター」を配置し、相談機関の充実を図るとともに、子育てに関する各種講座やサークル等の情報の発信を行います。



8 子ども向け図書館ホームページ充実による家庭における読書活動の啓発【図書館課】

保護者に読み聞かせのすすめや絵本の選び方、絵本やブックリストの紹介、おはなし会の案内等を掲載し、家庭における読書活動を啓発します。

9 大人のための子どもの読書を考える講座の開催【学習・スポーツ課】

家庭教育関係講座の中で、保護者向けに子どもの読書活動を考えるきっかけとなるような各種講座を開催します。

<参考>平成 25・26 年度「絵本の読み聞かせ」 平成 27 年度「ココロにひびく話し方講座ー落語読み聞かせ」

10 子どもスキップ保護者会等における啓発【子ども課】

学童クラブ保護者会等で、子どもに人気の本や良質な長く読み継がれている本を紹介するとともに、読書の意義や大切さを啓発します。

11 保育園を通じた保護者に対する子どもの読書に関する啓発【保育課】
 保育園の保護者会や園だよりを通じて、子どもが喜んで手にしている絵本や保育園で長く読み継がれている本などを紹介して、家庭における読書活動を啓発します。

12 保護者会等を通じた児童の読書活動に関する啓発【指導課・小学校】
 保護者会や学校だよりを通じて、子ども読書活動の意義や大切さ、図書の情報等を提供して、子どもの読書活動を啓発します。

new

13 「鬼子母神 plus」における図書コーナーの設置による啓発【保健所】

「鬼子母神 plus」(※)(池袋保健所1階若者向け健康情報スペース)に、地域の書店等との連携による、本屋さんの推薦図書や絵本およびイクメン推薦図書・乳幼児と保護者向けの育児雑誌のコーナーを設置し、読書活動の啓発を行います。



「鬼子母神 plus」とは

若者のライフプラン形成に向けた健康情報や子育て支援情報に関わる書籍やパンフレットなどを充実させた情報発信拠点です。書店や各種団体の協力による月替わり展示を実施しています。



(3) 子ども施設の職員等への啓発

14 区立図書館の講習会を活用した職員のスキルアップ【地域区民ひろば課】

区立図書館主催の講習会を活用し、読み聞かせやわらべ歌、手遊びなど、職員の読み聞かせ技術のスキルアップを図ります。

new

15 読書に関する講習会の開催【地域区民ひろば課】

区民や地域区民ひろば課職員等を対象に、電子書籍等の読書に関する新しい媒体について、適切な活用方法を学ぶ講習会を開催します。

16 児童・YAサービスの充実に向けた職員研修の実施【図書館課】

図書館課企画研修（職場内集合研修）、都立中央図書館の専門研修等により、職員のスキル、資質の向上を図ります。

＜実績＞平成26年度 企画研修「パネルシアター作成」、都立図書館研修「児童図書館専門研修」

17 子どもの読書に関する講習会の開催【図書館課】

年2回、子ども読書ボランティア、子ども施策関係部署職員、図書館職員等を対象に、「子どもの読書に関する講習会」を開催して、子どもの読書支援に関するスキルアップや資質の向上を図ります。

＜実績＞平成26年度「手遊びと読書」「ステップアップ読み聞かせ」、平成27年度「子どもの科学の本とおはなし会」

18 職員等に対する「子ども福祉研修」における子どもの読書活動に関する研修の実施【子ども課】

子ども家庭部の「子ども福祉研修」の一環として、子どもと本や読書に関わる研修を実施して、子どもの読書支援のスキル向上を図ります。

＜実績＞平成26年度「子ども講座」、平成27年度「子ども福祉研修」

19 「子ども福祉研修」をはじめ、各種研修会や講習会への参加による職員のスキルアップと資質の向上を図る【保育課】

子ども家庭部の「子ども福祉研修」や各種研修、講習会等で不断に職員の資質向上を図ります。

Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実



(1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備

乳幼児

20 地域区民ひろばの本のある環境作りの推進【地域区民ひろば課】

区民ひろばの子育てひろば等に備え置く図書を計画的に購入したり、リサイクル本を活用するなどして充実し、本のある環境作りを進めます。

21 乳幼児向けブックリスト図書コーナーの設置【図書館課】

乳幼児向けブックリスト『ねえ、よんで』（0・1・2歳むき）『ほんのしまとしま』（3～6歳むき）に掲載されている絵本のコーナーを設置して、保護者や乳幼児が本を手にとる機会を増やします。

22 リサイクル図書の子ども施設での活用【図書館課】

図書館で除籍処理した図書を、希望に応じて子ども施設や小学校へリサイクル図書として提供して活用します。

23 保健所の絵本コーナーの充実【保健所】

乳幼児健診の機会に本に触れられるよう健診会場に、ブックリスト『ねえ、よんで』（0・1・2歳むき）掲載図書の絵本コーナーを設置して、保護者や乳幼児が本を手にとる機会を増やします。

＜実績＞ 平成26年度 乳児健診 2,035人、1歳6か月児健診 1,696人、
3歳児健診 1,536人

24 子ども家庭支援センターの絵本コーナーの充実【子育て支援課】

子ども家庭支援センターの、親子あそび広場、一時保育室、発達支援室に本コーナーを設置して、親子が本に親しむ環境を整備します。

25 保育園の蔵書の家庭への貸出【保育課】

保育園各園に絵本コーナーを設置して絵本に親しむとともに、園児の保護者や地域の親子に貸出を行います。

26 保育園の図書等の整備・充実を図る【保育課】

区立図書館の団体利用やリサイクルの活用、近隣の方からの寄贈などを活用して、保育園の読書環境の整備を図ります。

27 幼稚園の蔵書の充実【区立幼稚園】

幼児の興味や教育内容にそって、各園年間約40冊程度の絵本を購入していき、幼稚園の蔵書の充実を図ります。

28 幼稚園の蔵書の家庭への貸出【区立幼稚園】

幼稚園に蔵書している図書の家庭への貸出を週1回実施します。



小学生

29 郷土に関する資料の充実・公開・調べ学習支援【文化デザイン課】

郷土資料館が収蔵する資料を充実させるとともに、資料のデータベース化とその資料の公開による活用をすすめます。また、郷土資料の調べ学習に関する電話や窓口におけるレファレンスを行います。

30 雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実【文化デザイン課】

雑司が谷旧宣教師館に、児童図書のコーナーを設けて「赤い鳥」等の児童書を収集し、見学者の閲覧に供しています。

31 小学生向けブックリストの図書コーナーの設置と図書の充実

【図書館課】

小学生向けブックリスト『よんでみよう ホップ・ステップ・ジャンプ』にリストアップした図書のコーナーを全館に設けて、読書推進のきっかけづくりを行います。

32 外国語図書等の整備・充実【図書館課】

外国語の絵本や日本人作家の外国語版の図書等を収集し、外国人等の図書館利用の利便性を高めます。

33 郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供【図書館課】

豊島区の歴史や民話、豊島区に関わる作家の作品等を積極的に収集・所蔵し、提供していきます。また、資料の保存、提供を安定的、継続的に行うために、地域資料のマルチメディア対応を視野に入れたデジタル化を進めます。

22 リサイクル図書の小学校での活用【図書館課】(p.29 再掲)

new

34 オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進【図書館課】

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機会として、世界各国の歴史・文化・習慣などを学び、知識や情報を得るための企画展示や関連図書をすすめて読書活動を支援します。

35 「子どもスキップ」の読書コーナーの充実【子ども課】

子どもスキップの読書コーナーの蔵書を、区立図書館の団体貸出等を活用して充実させ、利用する小学生の読書活動を推進します。

36 学校図書標準を基準とした学校図書館図書資料の充実

【学務課・指導課・小学校】

小・中学校の学校図書館の蔵書を、学校図書標準(※)を基準に整備・充実していきます。また、従来の図書資料に加えて ICT 機器等のタブレット端末で調べ学習ができる「学習情報センター」(※)としての機能を充実していきます。

＜実績＞平成 26 年度末 区立小・中学校の 50%で図書標準を達成。



「学校図書標準」とは

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成 5 年 3 月に当時の文部省が定めた蔵書数です。



「学習情報センター」とは

学校図書館が持つ機能のうち、児童・生徒の主体的な学習活動の支援や、情報の収集・選択・活用能力を育成するなど、学校教育の中核的な役割を果たす機能を指します。



中学生

29 郷土に関する資料の充実・公開・調べ学習支援【文化デザイン課】
(p.30 再掲)

30 雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実【文化デザイン課】
(p.30 再掲)

37 YAコーナーの図書等の充実と優先閲覧席の設置【図書館課】
区立図書館に、10代の子どもの優先閲覧席を整備し、YAコーナーの
図書等を充実していきます。

32 外国語図書等の整備・充実【図書館課】(p.30 再掲)

33 郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供【図書館課】(p.31 再掲)

new

34 オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進
【図書館課】(p.31 再掲)

38 ジャンプ東池袋・ジャンプ長崎の読書コーナーの充実【子ども課】
中高生センタージャンプ東池袋・ジャンプ長崎の読書コーナーを充実さ
せ、利用する中高校生の読書活動推進を支援します。

36 学校図書標準を基準とした学校図書館図書資料の充実
【学務課・指導課・中学校】(p.31 再掲)

39 学級文庫の実施・充実【指導課・中学校】
図書委員等が選書した図書を各クラスの学級文庫に設置して、生徒が
本と身近に接することができるようにして読書活動に結びつけていきま
す。

40 学校図書館廃棄本のリサイクルによる図書の提供【指導課・中学校】
学校図書館の蔵書の整理により廃棄となる図書のリサイクルコーナ
を設置するなどして、生徒にリサイクル図書を提供して読書活動につな
げていきます。

高校生

- 37 YAコーナーの図書等の充実と優先閲覧席の設置【図書館課】
(p.32 再掲)
- 38 ジャンプ東池袋・ジャンプ長崎の読書コーナーの充実【子ども課】
(p.32 再掲)

特別な支援を必要とする子ども

- 41 点字図書・録音図書（音声デジター）やテキストデジター、点訳絵本等の充実【図書館課】

視覚に障害がある子どものために、ボランティアの協力により点字図書、録音図書（音声デジター）、テキストデジター、点訳絵本などを作成・購入して、点字図書館の蔵書を充実させていきます。

new

- 42 マルチメディアデジターの充実【図書館課】

障害があり通常の本では読書が困難な子どものために、マルチメディアデジター（※）の活用により、読書環境を整備します。



「マルチメディアデジター」とは

音声デジターのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ（同期）して出力されるものです。パソコンを使って利用します。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できるデジタル図書です。



(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実

乳幼児

- 4.3 地域区民ひろばにおける読書啓発活動の推進【地域区民ひろば課】**
乳幼児のプログラムとして地域の図書ボランティア団体や職員が、おもに1歳から幼稚園児までを対象とした読み聞かせ事業を実施します。
＜実績＞平成26年度 ボランティア団体 10団体が活動

4.4 区立図書館の読み聞かせボランティア活用による読書環境の充実【地域区民ひろば課・図書館課】

乳幼児のプログラムに区立図書館の読み聞かせボランティアを活用して定例的な乳幼児の読み聞かせを実施し、乳幼児とその保護者の読書環境の充実を図ります。

＜実績＞平成26年度 読み聞かせボランティア受入施設 13施設。



▲読み聞かせボランティア活動の様子

- 4.5 子どものための文化体験プログラムの実施【文化デザイン課】**
舞台芸術交流センターあうるすぽっとを会場として、アート系NPO法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催します。また、絵本を活用したワークショップや、読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施します。
＜実績＞平成26年度 演劇公演 10公演、鑑賞教室4回、ワークショップ1回、保育園派遣型プログラム 16園で実施。

46 読み聞かせボランティアの養成と子ども施設への派遣

【図書館課】

読み聞かせボランティアを計画的に養成し、人材バンクに登録するとともに、子ども施設への派遣をコーディネートしてボランティア活動を支援します。養成後にはスキルの維持向上のためのフォローアップ研修も実施します。

＜実績＞平成26年度「フォローアップ研修」を実施。テーマは選書とプログラム3回、わらべうた1回、紙芝居1回開催。27年度 新規ボランティア養成者数7名。

47 自主的な読み聞かせボランティアの活動の支援【図書館課】

自主的に活動している読み聞かせボランティアを対象に講習会を実施して、読み聞かせの技術の維持向上を支援します。

＜実績＞平成26年度講習会「手遊びと読書」と「ステップアップ読み聞かせ」の2回開催。

48 「赤ちゃんおはなし会」など乳児向け行事の開催【図書館課】

乳児と保護者が一緒に楽しむことができる、絵本の読み聞かせやふれあい遊び、わらべうたを内容とする「赤ちゃんおはなし会」を定例的に開催します。

＜実績＞全館で月1回開催。

49 おはなし会等幼児向け行事の実施【図書館課】

定例的な「おはなし会」とともに、季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」、映画会、工作会など、子どもと本をつなぐきっかけとなる各種行事を実施します。

＜実績＞全館で週1回開催。

50 読み聞かせボランティア活用による「親子あそび広場」のプログラムの充実【子育て支援課】

子ども家庭支援センターの「親子あそび広場」の利用者向けに、月2～4回定例的に、ボランティアの活用による読み聞かせを実施し、プログラムの充実を図ります。

＜実績＞平成26年度 プログラム回数45回 参加者数1,048名

51 絵本のプレゼントの実施【子育て支援課】

子ども家庭支援センターの「親子あそび広場」やバースデイ訪問(※)、妊婦向け事業・講座、育児講座等の参加者に絵本を配布し、読み聞かせや本にふれる機会を作ります。

＜実績＞ 平成 26 年度 配布数 1333 冊（妊婦向け事業・講座 69 冊、育児講座 335 冊、バースデイ訪問 929 冊）



「バースデイ訪問」とは

平成23年度から、在宅で子育てをしているご家庭に1歳の誕生日にあわせて子育て相談員がご家庭を訪問し、子育てに関する悩みを聴き、助言を行うとともに、絵本をプレゼントしています。

52 絵本の読み聞かせや紙芝居、行事の実施により乳幼児がものがたりの世界や知識にふれる機会の充実【保育課】

日常の保育のなかに、絵本の読み聞かせや紙芝居を取り入れ、また自然を利用した行事を実施することで、本を通じたものがたりの世界を楽しむとともに、新しい知識も蓄えていくきっかけとします。

53 地域の読書ボランティアの活用【保育課】

読書ボランティアを活用したり、小・中高校生との読書活動の交流を行い、読書活動を推進します。

＜実績＞平成 26 年度 読書ボランティア 31 回

54 保護者による幼稚園での読み聞かせ活動の実施【区立幼稚園】

「おはなしりんご」など各区立幼稚園の保護者による読み聞かせ活動を実施します。



45 子どものための文化体験プログラムの実施【文化デザイン課】

(p.34 再掲)

55 子ども向け郷土資料の作成支援【文化デザイン課】

雑司が谷ルネサンスの会の『絵本雑司が谷いろはかるた』の作成・頒布を支援するとともに、地域のボランティアの著作・出版活動を支援します。

＜実績＞長崎地区の昔ばなしの紙芝居『ちいさい桶』を作成。

56 小学生向け行事の実施【図書館課】

季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」、映画会、工作会を実施して、子どもと本をつなぐ事業を実施します。特に夏休みの「図書館タンテイ」は人気の行事になっています。

また、地域館の一部では、一定のテーマで選書した本を数冊まとめた「本の福袋」による貸出事業を児童書についても実施しており、新たな人気の事業として継続していきます。

＜実績＞平成27年度 本の福袋 5館で実施。



「図書館タンテイ」とは

区立図書館で実施している、図書館内のクイズに答えて「図書館タンテイ」を目指すという参加型のイベントです。図書館の本を使って問題を解きます。各館で毎年テーマを決めて実施しています。



「本の福袋」とは

数冊の本を中身が見えないように梱包し、利用者は外側に書かれたテーマなどを参考に借ります。家に帰って袋を開けるまで、どの本が入っているかわからないようになっています。



57 学校訪問・学級招待・職場体験等による学校支援【図書館課】

区立図書館児童担当による学校訪問や学級招待、職場体験により図書館の仕事や利用方法を紹介するとともに、学校訪問に際して、本の読み聞かせやブックトークにより読書活動推進のきっかけづくりも行います。

<実績>平成26年度 学校訪問 128回 4,174人、学級招待 9回 353人。

58 児童読書情報交換コーナーの充実【図書館課】

図書館の児童コーナーに読書情報交換のための掲示板を設置し、読書に関する気軽な情報収集の場とします。

new

59 読書通帳の配布による読書のきっかけづくり【図書館課】

読書通帳(※)を作成し、区立図書館を利用する小・中学生を対象に、希望に応じて配布し、読書活動促進のきっかけづくりを行います。



「読書通帳」とは

図書の貸し出し履歴を利用者が自分で記録する通帳で、金融機関の通帳のように機械に挿入することで印字する形式もあります。



60 「子どもスキップ」で読書の楽しさを伝える各種事業の実施

【子ども課】

「子どもスキップ」の事業や放課後子ども教室のプログラムで、読み聞かせやストーリー・テリングなどを行い、子どもに読書の楽しさを啓発し、本と結びつけるきっかけづくりを行います。

61 地域の読書ボランティア活用によるおはなし会の開催【子ども課】

「子どもスキップ」や放課後子ども教室の事業として、地域の読書ボランティアを受け入れて読み聞かせなどのおはなし会を実施し、読書活動を推進します。

62 学校司書を配置し学校図書館を充実させる【指導課・小学校】

小・中学校の学校図書館に司書を配置し、学校図書館の資料管理や調べ学習など授業支援を充実させていきます。

new

63 学校図書館への区立図書館司書の活用【図書館課・指導課】

区立図書館の図書館司書（非常勤職員）を、区立小中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援します。さらに図書館資料の教員への情報提供等多面的な学校支援を展開します。また、学校図書館に勤務する図書館司書で構成する、学校図書館支援連絡会を開催し、支援・連携体制を強化します。区立小学校への配置は平成28年度から実施します。

64 朝読書や読書マラソンカードの実施などにより読書習慣の確立を図る【指導課・小学校】

朝読書、栄養士と連携した「お話し給食」の実施、読書マラソンカードの導入など多彩な方法で、児童が読書活動を習慣づけられるよう支援していきます。

65 図書委員会活動による読書活動の推進を図る【指導課・小学校】

学校図書館の書架管理や図書の貸出管理、推薦図書の紹介など自主的な図書委員会活動を支援して、児童の主体的で継続的な読書活動に結びつけていきます。


 中学生
45 子どものための文化体験プログラムの実施【文化デザイン課】
(p.36 再掲)**66 学校訪問・職場体験等による学校支援【図書館課】**

学校を訪問してブックトークを実施し、10代向けの図書を紹介したり、中学2年生の職場体験を受け入れて、図書館の仕事を経験させるとともに、図書館や本への興味をもつきっかけづくりを行います。

<実績>平成26年度 職場体験 延48日、延70人。

67 YA読書情報交換コーナーの充実【図書館課】

YAコーナーに情報交換用の掲示板を設置して、図書や読書に関する情報を交換する場を設けるとともに、意見箱を設置して図書や読書に関するみんなの意見を収集し、意見を掲示板に掲示して情報提供し、読書活動につなげていきます。

new 59 読書通帳の配布による読書のきっかけづくり【図書館課】(p.38 再掲)

new 68 Y A向け読書活動促進行事の実施【図書館課】

ポップアップカードを作るワークショップを開催し、仕掛け絵本の立体的なしくみやスケールからデジタルにはない紙の絵本の魅力を感じてもらうなど、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行います。



▲仕掛け絵本の展示（千早図書館）



▲読書情報コーナー（中央図書館）

69 学校司書を配置し学校図書館を充実させる【指導課・中学校】

小・中学校の学校図書館に司書を配置し、学校図書館の資料管理や調べ学習など授業支援を充実させていきます。

new 70 学校図書館への区立図書館司書の活用【図書館課・指導課】

区立図書館の図書館司書（非常勤職員）を、区立小・中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援します。さらに図書館資料の教員への情報提供等多面的な学校支援を展開します。中学校への配置は平成29年度開始を予定しています。

71 朝読書の実施などによる読書習慣の形成【指導課・中学校】

朝、学級活動の前の時間を使い、10分間の朝読書を継続的に実施するなどして、読書習慣の確立を支援します。

72 ビブリオバトル等の実施による読書活動の促進【指導課・中学校】

授業や図書委員会のイベントとしてビブリオバトル(※)等を実施するなど、読書の感想を伝える場を設定して読書活動の促進に結び付けます。紹介本を学校図書館の蔵書図書から選ぶことにするなど、学校図書館利用促進にもつなげます。



「ビブリオバトル」とは

テーマに沿って選んだ本をバトルが5分間で紹介しあい、観覧者が最も読みたくなった本に投票し、チャンプ本を決める活動です。知的書評合戦とも呼ばれています。



▲センタースクエアで実施したビブリオバトルの様子

73 図書委員会や図書委員の活動を活発にして生徒の読書活動の推進を図る【指導課・中学校】

図書委員会活動を活発にして、貸出ランキング表の掲出や図書委員のおすすめ本の展示、POPの掲示など学校図書館の企画展示を行います。

また、休憩時間や放課後の時間を活用して、図書委員による本の読み聞かせや読書会を開催します。さらに、お昼休みの時間に、学校図書館の図書のデリバリーサービス(新規)を行い、学校図書館の図書の利用を促進します。

new

74 プライベート読書時間の設定による読書活動の推進を図る

【指導課・中学校】

プライベートな時間に、一定の時間や時間帯を〔読書の時間〕と決めて読書することを生徒に推奨して、読書習慣の形成を促します。

高校生

67 YA読書情報交換コーナーの充実【図書館課】(p.39 再掲)

new

75 YA向け読書活動促進行事の実施【図書館課】

ポップアップカードを作るワークショップや高校生を対象としたビブリオバトルを実施し、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行います。

76 学校訪問によるブックトーク等の実施【図書館課】

高等学校の要請により学校訪問を行い、区立図書館の紹介を行うとともに、読み聞かせやブックトークにより10代に人気の本やおすすめ本を紹介して、図書館の利用や読書への動機づけを行います。

〈実績〉 平成26年度 1校(2年生) 9クラスでブックトークを実施。

特別な支援を必要とする子ども

77 点訳・音訳ボランティアによる点訳・音訳・対面朗読サービスの実施【図書館課】

障害のある子どもからの申請に基づき、蔵書にないリクエスト資料について点訳・音訳・対面朗読サービスを実施します。

78 点字図書館や点訳図書等の普及・啓発【図書館課】

通常学級の子どもの対象に、職場体験等の機会に点字図書館やその業務内容を紹介するプログラムを組み込むとともに、夏休みに子ども点字教室を開催して点字体験をする機会を設けて、点字図書館や点訳図書等を紹介して視覚障害者への理解を深めるきっかけづくりをします。

79 特別な支援を必要とする子どものための読書機会の提供【図書館課】

区立小・中学校の特別支援学級や大塚ろう学校に学校訪問して、読み聞かせやブックトークを実施して読書のきっかけづくりを行います。

new

80 マルチメディアデージー活用による読書支援【図書館課】

区立小・中学校の特別支援学級への団体貸出に、マルチメディアデージーを活用して読書支援を行います。

- 81 発達支援事業の通所指導で絵本の読み聞かせを実施【子育て支援課】**
乳幼児プログラムの療育活動の中で、読み聞かせやわらべうた、手遊び等を実施し、特別な支援を必要とする子どもの読書活動を充実させていきます。

(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策



- 82 「としょねっと便」の運行【図書館課】**
区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ週2回「としょねっと便」を運行して、図書館の図書の貸出利用の利便を図り読書活動を促進します。
＜実績＞ 平成26年度 90回運行。
- 83 団体登録貸出制度による児童書の貸出【図書館課】**
団体登録貸出により、保育園や幼稚園その他子ども施設へ児童書の貸出を行います。
＜実績＞平成26年度 団体貸出回数84回、貸出冊数12,765冊。
- 84 乳幼児向けブックリストの配布【図書館課】**
乳幼児向けブックリスト『ねえ、よんで』と『ほんのしまとしま』を、図書館で配布するほか、保育園、幼稚園や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつけます。
＜実績＞平成27年度 幼稚園（区立3園、私立16園）、保育園（区立19園、私立20園）、子ども家庭支援センターへ配布
- 85 子ども向け図書館ホームページの充実【図書館課】**
図書館ホームページの「こどものページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等の発信を、ホームページの有効活用により子ども達にアプローチすることで、図書館利用や図書館資料の利用を活発にします。



小学生

82 「としょねっと便」の運行【図書館課】(p.43 再掲)

86 団体登録貸出制度による児童書の貸出【図書館課】

小学校への団体登録貸出により、団体貸出セットやテーマ別のリクエストによる児童書の貸出を行います。

<実績>平成 26 年度 団体貸出回数 1,009 回、貸出冊数 33,594 冊。

87 小学生向けブックリストの配布【図書館課】

小学生向けブックリスト『よんでみよう ホップ・ステップ・ジャンプ』を、図書館で配布するほか、区立小学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつけます。

<実績>平成 27 年度 1 学期 区立小学校全校生徒に配布。

85 子ども向け図書館ホームページの充実【図書館課】(p.43 再掲)



中学生

82 「としょねっと便」の運行【図書館課】(p.43 再掲)

86 団体登録貸出制度による児童書の貸出【図書館課】

中学校への団体登録貸出により、団体貸出セットやテーマ別のリクエストによる図書の貸出を行います。

<実績>平成 26 年度 団体貸出回数 13 回、貸出冊数 743 冊。

87 中高生向けブックリストの配布【図書館課】

中高生向けブックリスト『オスパラ』を、図書館で配布するほか、区立中学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつけます。

<実績>平成 27 年度 1 学期 区立中学校全生徒に配布。

85 子ども向け図書館ホームページの充実【図書館課】(p.43 再掲)

高校生

87 中高生向けブックリストの配布【図書館課】(p.44 再掲)

85 子ども向け図書館ホームページの充実【図書館課】(p.43 再掲)



▲乳幼児向けブックリスト図書コーナー
(中央図書館)



▲小学生向けブックリスト図書コーナー
(中央図書館)



▲小学生向け「こわいおはなしかい」の様子



▲中高生向けブックリスト『オスパラ』

Ⅲ 計画事業一覧



Ⅰ 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業

※ は重点事業

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
1	子ども向け 図書利用案 内の作成・ 配布	豊島区立図書館利用案内を〈小学校・幼稚園版〉と〈中学校版〉(新規)を作成し、幼稚園、小中学校へ配布し、区立図書館の利用を促進する。	子ども向け利用案内「ようこそとよかんへ」を印刷し、幼稚園、保育園、区立小学校へ配布	小 幼・ 稚中 学生	毎年度、区立小学校新1年生に配布	中学校版を新規に作成	毎年度関係施設へ配布	図書館課
2	子ども向け 各種行事の 実施	子ども読書の日(4月23日)や文字・活字文化の日(10月27日)などの記念の日にちなむ行事を実施し、8月中旬には平和普及事業として関連図書の企画展示などをして、記念の日の意義や図書を周知・啓発する。	全館で、子ども読書の日(4月23日)、文字・活字文化の日(10月27日)行事、終戦記念日(8月15日)前後の平和普及事業を実施	小学 生	・子ども読書の日 ・文字・活字文化の日 ・平和普及事業	記念事業を実施	毎年度実施	図書館課
3	区立小・中 学校RCフェ スタの開催	区立小・中学校、区立図書館と連携して「RC(Reading and Communication) フェスタ」を開催し、教育委員会推薦図書の普及・啓発、本との出会いや読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図る。	・区立図書館から本の紹介・読書感想文コンクールの表彰及び発表・各学校の読書活動・本の紹介 ・「おすすめの本紹介カードコンクール」表彰及び紹介 ・読書活動と関連した英語活動の発表	小 ・中 学生	実施回数	年1回	年1回	指導課
4	点字図書館 サービスの PR	点字図書館サービス(点訳・音訳・対面朗読サービス等)を紹介するパンフレットやCDを作成・配布し、特別な支援を必要とする子どもの利用を促進する。	点字図書館サービス案内CD版を作成	特 と 別 す な る 支 生 援 徒 を ・ 児 童	・パンフレットの作成 ・CD版パンフレットの作成	各1回	必要に応じてパンフレット・CD等を改訂	図書館課

(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
5	乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布	乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、図書館利用のPRとブックリストを配付して家庭での読書を推進する。	池袋保健所(パパ・ママ準備教室)、長崎健康相談所(1歳6か月児健診)で絵本の読み聞かせとブックリストを配布	乳幼児・保護者	・パパ・ママ準備教室 ・1歳6か月児健診	各12回	毎年度実施	図書館課
6	ブックリストの作成・配布	乳幼児及び児童向けのブックリストを作成し、保育園、幼稚園、区立小学校等に配布するとともに、図書館で開催する行事などの機会に子どもや保護者に配布して読書活動を啓発する。	・区内保育園、幼稚園、保健所にブックリストを配付した。毎年小学生向けブックリスト『よんでみよう』を発行し、区立小学校全校生徒に配布 ・平成25年度からブックリスト『オスパラ～10代のためのオススメ本～』を毎年発行し、区立中学校の全校生徒に配布	小・中学生・保護者	配付先施設数(保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所)・区立小中学校(全校生徒)	改定時に配付	28年度目標値を継続	図書館課
7	子育てインフォメーション活用による図書館利用の促進<新規>	子育て中の保護者への情報発信として、子育てインフォメーションと連携して、図書館で主催する行事のパンフレットやブックリストを配布し、読書活動や図書館利用を促進する。	——	保護者	各種行事の情報提供	毎月行事チラシを配布	28年度目標値を継続	図書館課
8	子ども向け図書館ホームページ充実による家庭における読書活動の啓発	保護者に読み聞かせのすすめや絵本の選び方、絵本やブックリストの紹介、おはなし会等の案内を掲載し、家庭における読書活動を啓発する。	27年1月に「こどものページ」と「10代のためのページ」のホームページをリニューアル	高校・生中・学生・保護者	特集棚の紹介	毎月(YAは隔月)	28年度目標値を継続	図書館課
9	大人のための子どもの読書を考える講座の開催	家庭教育講座の中で、保護者向けに子どもの読書活動を考えるきっかけとなるような各種講座を開催する。	25・26年度家庭教育学級・乳幼児コースにて絵本の読み聞かせの実演や、読み聞かせに関するアドバイスなどを入れた講座を実施 27年度家庭教育学級・小学校高学年コース「ココロにひびく話し方講座～親子コミュニケーション術～」のなかで、「落語読み聞かせ」の実演を実施	保護者・家庭	参加人数	30人	第二次までの取り組みを継続	学習・スポーツ課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22~27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28~32年度)	課名
10	子どもスキップ保護者会等での子ども読書に関する啓発	保護者会等で、良質な長く読み継がれている本を紹介し、読書の意義や大切さを啓発する。	各施設の実態に応じて本に関する情報提供を実施	保護者	実施施設数	22施設	全てのスキップで実施	子ども課
11	保育園を通じた保護者への子どもの読書に関する啓発	保護者会や園だより等で、子どもが喜んで手にしている絵本や保育園で長く読み継がれている本などを紹介する。	絵本の紹介 保護者会12園 園だより15園 クラスだより11園	保護者	絵本の紹介	全園で実施	28年度目標値を継続	保育課
12	保護者会等を通じた児童の読書活動に関する啓発	保護者会や学校だよりを通じて、子どもの読書活動の意義や大切さ、図書の情報等を提供する。	各校の実態に応じて実施	小 保護 学 護 生 者	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	28年度目標値を継続	小 指 学 導 校 課
13	鬼子母神Plusにおける図書コーナー設置による啓発<新規>	池袋保健所1階に設置した若者向け健康情報スペースに、地域の書店等との連携で本屋さんの推薦図書や育児雑誌およびイクメン推薦図書コーナーを設置し、乳幼児と保護者向けに絵本を展示、紹介する。	平成27年11月リニューアルオープン	区 民	月替りで書籍紹介	12回	毎年度 12回	保 健 所

(3) 子ども施設の職員等への啓発

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22~27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28~32年度)	課名
14	区立図書館の講習会を活用した職員のスキルアップ	図書館主催の子どもの読書に関する講習会を活用し、ひろば職員の読み聞かせ技術のスキルアップを図る。	絵本の読み聞かせ、手遊びやわらべ歌などの図書館講習会を5施設が受講	ひろ ば 職 員	図書館講習会受講	10施設	22施設	地 域 区 民 ひろ ば 課
15	読書に関する講習会の開催<新規>	電子書籍等の読書に関する新しい媒体について、適切な活用方法を学ぶ講習会を開催する。	——	区 民 ひ ろ ば 課	講習会の開催	1回	・28年度職員研修「講習会」開催 ・29年度以降区民向け講習会を各区民ひろばで開催	地 域 区 民 ひろ ば 課
16	児童・YAサービスの充実に向けた職員研修の実施	児童・YAサービスの向上のため、図書館課が主催する研修や専門研修等により職員のスキル、資質の向上に取り組む。	・児童部会でOJTを実施 ・子どもの読書に関する講習会(年2回)を職員研修と兼ねて実施し、児童担当が受講	図 書 館 職 員	・子どもの読書に関する講習会(回数・受講者数) ・児童図書館専門研修(受講者数)	2回	28年度目標値を継続	図 書 館 課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
17	子どもの読書に関する講習会の開催	年2回、子ども読書ボランティア、子ども施策関係部署職員、図書館職員等を対象に講習会を開催し、子どもの読書支援に関するスキルアップや資質の向上を図る。	外部講師による「子どもの読書に関する講習会」を年2回実施	関係 部 区 署 職 員	講習会	2回	28年度目標値を継続	図書館課
18	職員への読書に関する研修の実施	子ども家庭部内職員を対象とする「子ども福祉研修」で、子どもと本や読書に関わる研修を実施して、子どもの読書支援のスキル向上を図る。	・子ども福祉研修 22,23,27年度に実施 ・子ども講座23,24,26年度に実施	職員 及 び 区 民	開催回数	1回	年1回開催	子ども課
19	職員のスキルアップと資質の向上	「子ども福祉研修」はじめ各種研修や講習会等への職員参加により、本と子ども達を結びつけるためのスキルアップと資質向上を図る。	研修への参加 26年度…9名 27年度…7名 勉強会 26年度…1名 27年度…5名	職員	・研修への参加 ・勉強会実施	全園で実施	28年度目標値を継続	保育課

Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

(1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備

【乳幼児】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
20	地域区民ひろばの本のある環境づくりの推進	計画的な図書購入とリサイクル本の活用などで、子育てひろば等に本のある環境作りを行う。	・図書購入予算は、19施設中10施設で予算措置 ・リサイクル本は、18施設で活用したが、12施設は更なる子ども向け図書の充実を要望	関係 機 関	年度当初に図書購入予算措置	22施設	22施設	地域 区 民 ひ ろ ば
21	乳幼児向けブックリスト図書コーナーの設置	乳幼児向けブックリストに掲載されている絵本のコーナーを設置して、保護者や乳幼児が本を手取る機会を増やす。	乳幼児向けブックリスト『ねえ、よんで(0～2歳むき)』と『ほんのしまとしま(3～6歳むき)』を作成し、全館でブックリスト掲載図書コーナーを設置	乳 幼 児	乳幼児向けブックリストの掲載図書コーナーを設置	全館で設置	事業を継続	図書館課
22	リサイクル図書の子どもの施設での活用	区立図書館で除籍処理した図書を、希望に応じて子ども施設へリサイクル図書として提供し活用する。	区内子ども施設へリサイクル図書を提供	小 乳 ・ 幼 中 学 校	リサイクル図書提供施設数・冊数	区内保育園、幼稚園、区立小・中学校、子ども施設と連携	28年度目標値を継続	図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
23	保健所の絵本コーナーの充実	乳幼児健診会場にブックリスト『ねえ、よんで』掲載図書の絵本コーナーを設置している。	(22～26年度) ・乳幼児健診来所者 9,472人 ・1歳6か月児健診来所者 7,507人 ・3歳児健診来所者7,274人	乳幼児	健診来所者数	5,300人	26,500人	保健所
24	子ども家庭支援センターの絵本コーナーの充実	親子あそび広場、一時保育室、発達支援室に絵本コーナーを設置して、親子が本に親しむ環境を整備する。	(22～27年度) 親子遊び広場総利用者数 ・親子遊び広場総利用者数 282,321人 ・一時保育延利用者数 27,871人	乳幼児・保護者	各事業利用者数	52,000人	378,000人	子育て支援課
25	保育園の蔵書の家庭への貸出	各園に絵本コーナーを設置して絵本に親しむとともに、園児の保護者や地域の親子に絵本の貸出を行う。	絵本の貸出コーナー (園児保護者向け14園 地域の親子向け3園)	地域の保護者・園児	絵本コーナーの設置	全園で実施	28年度目標値を継続	保育課
26	保育園の図書等の整備と充実	区立図書館の団体貸出利用やリサイクル図書の活用、近隣の方からの寄贈図書などを活用して、保育園の読書活動の整備を図る。	区立図書館の団体利用活用。 (ぐるっと便は終了)	全園児	区立図書館のリサイクル図書利用、近隣の方からの寄贈。	全園で実施	28年度目標値を継続	保育課
27	幼稚園の蔵書の充実	幼児の興味や教育内容に応じて、絵本等を購入し蔵書の充実を図る。	各園毎年約40冊の絵本やパネルシアターを購入	全園児	購入図書	40冊	28年度目標値を継続	区立幼稚園
28	幼稚園の蔵書の家庭への貸出	幼稚園が蔵書している図書を、家庭へ貸出す。	週1回の貸出	全園児	貸出回数	35回	28年度目標値を継続	区立幼稚園

【小学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
29	郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	郷土資料館が収蔵資料を充実させるとともに、資料のデータベース化とその資料の公開による活用をすすめる。郷土資料の調べ学習に関する電話や窓口におけるレファレンスを行う。	郷土資料の調べ学習で利用できるよう、豊島区のホームページ内に「郷土資料館・キッズページ」を公開	小・中学生	随時	随時	・郷土に関する図書資料(子ども向けを含む)を購入・寄贈等により収集 ・電話や窓口における支援(レファレンス)を実施 ・区ホームページ内の「キッズページ」に区の歴史などを紹介するページを作成 ・郷土資料館に設置している利用者端末にクイズ形式で区の歴史などが楽しめるコンテンツを作成	文化デザイン課
30	雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	雑司が谷旧宣教師館に児童図書コーナーを設置し、「赤い鳥」等を収集し、見学者の閲覧に供する。	雑司が谷旧宣教師館でも、児童図書コーナーの運営と「赤い鳥」等の児童図書資料の収集を実施	小・中学生	随時	随時	雑司が谷旧宣教師館でも、児童図書コーナーの運営と「赤い鳥」等の地域に関わる児童図書資料の収集を継続	文化デザイン課
31	小学生向けブックリストの図書コーナーの設置と図書の充実	小学生向けブックリスト『よんでみよう』に掲載した図書のコーナーを全館に設置して、読書活動のきっかけを作る。	毎年小学生向けに発行しているブックリスト『よんでみよう』にリストアップした図書のコーナーを全館に設置	小学生	特集展示	12回	28年度目標値を継続	図書館課
32	外国語図書等の整備・充実	外国語の絵本や日本人作家の外国語版の図書等を収集・所蔵して、外国人等の図書館利用の利便性を高める。	外国語絵本や日本人作家の作品をの外国語版の図書を収集し所蔵	小・中学生	・外国語の絵本 ・日本の作家の外国語版	全館で購入	28年度目標値を継続	図書館課
33	郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	豊島区の歴史や民話、豊島区に関わる作家の作品等を積極的に収集・所蔵し、提供する。地域資料のデジタル化を進める。	郷土に関する図書や郷土に関わる作家の図書を収集	小・高 中 学 生	郷土資料を 収集	郷土資料を収 集	収集を継続	図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
22	リサイクル図書の子ども施設での活用	区立図書館で除籍処理した図書を、希望に応じて子ども施設へリサイクル図書として提供し活用する。	区内子ども施設へリサイクル図書を提供	小 乳・幼 児 中 学 校	リサイクル図書提供施設数・冊数	区内保育園、幼稚園、区立小・中学校、子ども施設と連携	28年度目標値を継続	図書館課
34	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進<新規>	オリンピック大会の開催を機会に、世界各国の歴史・文化・習慣などを学び、知識や情報を得るための企画展示や関連図書をすすめて、読書活動を支援する。	——	小・中学校	企画展示	区立小・中学校図書館が連携して実施	区立図書館 区立小・中学校	図書館課
35	子どもスキップの読書コーナーの充実	子どもスキップの読書コーナーの蔵書を、区立図書館の団体貸出等を活用して充実させ、利用する小学生の読書活動を推進する。	・読書コーナーの図書は、「子ども会議」での子どもたちのリクエスト図書を購入 ・雨天時等に学校図書館を利用する機会を設定	小学生	実施施設数	22施設	全てのスキップで実施	子ども課
36	学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	小中学校の学校図書館の蔵書を、学校図書標準を基準に整備・充実する。また、ICT機器等のタブレット端末で調べ学習ができる「学習情報センター」としての機能を充実する。	学校図書標準の達成率は下がったが、古い図書の廃棄が進み、新しい図書との入れ替えが進んでいる。	小学生	学校図書標準	60%	70～80%になるように継続	学務課 小学校・指導課
				中学生	学校図書標準	60%	70～80%になるように継続	

【中学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
29	郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	郷土資料館が収蔵資料を充実させるとともに、資料のデータベース化とその資料の公開による活用をすすめる。郷土資料の調べ学習に関する電話や窓口におけるレファレンスを行う。	郷土資料の調べ学習で利用できるよう、豊島区のホームページ内に「郷土資料館・キッズページ」を公開	小・中学生	随時	随時	・郷土に関する図書資料(子ども向けを含む)を購入・寄贈等により収集 ・電話や窓口における支援(レファレンス)を実施 ・区ホームページ内の「キッズページ」に区の歴史などを紹介するページを作成 ・郷土資料館に設置している利用者端末にクイズ形式で区の歴史などが楽しめるコンテンツを作成	文化デザイン課
30	雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	雑司が谷旧宣教師館に児童図書コーナーを設置し、「赤い鳥」等を収集し、見学者の閲覧に供する。	雑司が谷旧宣教師館でも、児童図書コーナーの運営と「赤い鳥」等の児童図書資料の収集を実施	小・中学生	随時	随時	雑司が谷旧宣教師館でも、児童図書コーナーの運営と「赤い鳥」等の地域に関わる児童図書資料の収集を継続	文化デザイン課
37	YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	区立図書館に10代の子どもの優先閲覧席を整備し、YAコーナーの図書等を充実させる。	全館に設置されたYAコーナーで10代のための図書の充実を図った。優先席は、6館に設置	中高生	優先席の設置	全館で設置	全館に優先席を整備	図書館課
32	外国語図書等の整備・充実	外国語の絵本や日本人作家の外国語版の図書等を収集・所蔵して、外国人等の図書館利用の利便性を高める。	外国語絵本や日本人作家の作品をの外国語版の図書を収集し所蔵	小・中学生	・外国語の絵本 ・日本の作家の外国語版	全館で購入	28年度目標値を継続	図書館課
33	郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	豊島区の歴史や民話、豊島区に関わる作家の作品等を積極的に収集・所蔵し、提供する。地域資料のデジタル化を進める。	郷土に関する図書や郷土に関わる作家の図書を収集	小・高 中 校 学 生	郷土資料を収集	郷土資料を収集	収集を継続	図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
34	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進<新規>	オリンピック大会の開催を機会に、世界各国の歴史・文化・習慣などを学び、知識や情報を得るための企画展示や関連図書をすすめて、読書活動を支援する。	——	小・中学校	企画展示	区立小・中学校図書館が連携して実施	区立図書館 区立小・中学校	図書館課
38	ジャンプ(東池袋・長崎)の読書コーナーの充実	ジャンプ2施設の読書コーナーを充実させ、利用する中高校生の読書活動を支援する。	・中高校生が興味を持ちそうな本の紹介を実施 ・中央図書館の展示コーナーを活用したジャンプの紹介や中高校生に読んでほしい本の紹介を実施	中学生・高校生	実施施設数	2施設	ジャンプ2施設で実施	子ども課
36	学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	小中学校の学校図書館の蔵書を、学校図書標準を基準に整備・充実する。また、ICT機器等のタブレット端末で調べ学習ができる「学習情報センター」としての機能を充実する。	学校図書標準の達成率は下がったが、古い図書の廃棄が進み、新しい図書との入れ替えが進んでいる。	小学生	学校図書標準	60%	70～80%になるように継続	学務課・中学校指導課
				中学生	学校図書標準	60%	70～80%になるように継続	
39	学級文庫の実施・充実	図書委員等が選書した図書を各クラスに備えた学級文庫に設置し、教室で生徒が身近に本に接する環境を整え、読書活動に結びつける。	本が身近にある環境が つくられ、図書室利用にも つながった。	中学生	学級文庫を設置	8校 (区立中学校)	28年度目標値を継続	中指導 学校課
40	学校図書館廃棄本のリサイクル	学校図書館の蔵書整理により廃棄になる図書のリサイクルコーナーを設置するなどして、生徒にリサイクル本を提供し読書活動につなげる。	提供した資料の半分ほど 生徒の手に渡った。	中学生	リサイクルコーナーの設置	8校 (区立中学校)	28年度目標値を継続	中指導 学校課

【高校生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
37	YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	区立図書館に10代の子どもの優先閲覧席を整備し、YAコーナーの図書等を充実させる。	全館に設置されたYAコーナーで10代のための図書の充実を図った。優先席は、6館に設置	中・高校生	優先席の設置	全館で設置	全館に優先席を整備	図書館課
38	ジャンプ(東池袋・長崎)の読書コーナーの充実	ジャンプ2施設の読書コーナーを充実させ、利用する中高校生の読書活動を支援する。	・中高校生が興味を持ちそうな本の紹介を実施 ・中央図書館の展示コーナーを活用したジャンプの紹介や中高校生に読んでほしい本の紹介を実施	中学生・高校生	実施施設数	2施設	ジャンプ2施設で実施	子ども課

【特別な支援を必要とする子ども】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
41	点字図書・録音図書(音声デイズター)・テキストデイズターや点訳絵本等の充実	視覚に障害がある子どものために、ボランティアの協力により点字図書、録音図書(音声デイズター)、テキストデイズターや点訳絵本などを作成・購入して、点字図書館の蔵書を充実する。	①点字図書24タイトル ②デイズター図書41タイトル ③点訳絵本は、2タイトルを購入し、3タイトルを点訳研究会で作成した。27年度に2タイトル作成中	生徒・児童・特別な支援を必要とする	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書7タイトル ②デイズター図書5タイトル ③点訳絵本2タイトル	①点字図書25タイトル ②デイズター図書35タイトル ③点訳絵本10タイトル	図書館課
42	マルチメディアデイズターの充実<新規>	障害があり通常の本では読書が困難な子どものために、マルチメディアデイズターの活用により、読書環境を整備する。	——	生徒・児童・特別な支援を必要とする	マルチメディアデイズターの充実	マルチメディアデイズター資料の収集	貸出回数拡大	図書館課

(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実

【乳幼児】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
43	読書啓発活動の推進	地域の図書ボランティア団体や職員が、乳幼児を対象としたプログラムの読み聞かせ事業を実施する。	図書館以外のボランティア10団体を8施設で受け入れ、おもに1歳から幼稚園児を対象とした読み聞かせ事業を実施	ボランティア	ボランティアの受入	11施設	22施設	地域区民ひろば課
44	区立図書館読み聞かせボランティア活用による読書環境の充実	乳幼児のプログラムで開催しているおはなし会に、区立図書館の読み聞かせボランティア派遣を活用する。	出張の読書会を実施した13施設では、利用者が楽しみに待つようになり定着	乳幼児保護者	読み聞かせボランティアによるおはなし会の開催	15施設	22施設	地域区民ひろば課 図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
45	子どものための文化体験プログラムの実施	アート系NPO 法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催する。また、絵本を活用したワークショップや読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施する。	・区と共に運営しているアート系NPO 法人と協働で子どもの本を題材とした演劇公演を実施 ・読み芝居による鑑賞教室や絵本も取り入れた保育園派遣型文化体験プログラムを毎年、区内保育園16 園程度で実施	小・乳 幼 中 学 生	参加者数	乳幼児900人、 小学生以上の 区民2,780人	28年度目標値を 継続	文化 デ ザ イ ン 課
46	読み聞かせボランティアの養成と子ども施設への派遣	読み聞かせボランティアを計画的に養成し、人材バンクに登録するとともに、子ども施設への派遣をコーディネートしてボランティアの活動を支援する。養成後にはスキルの維持向上のためのフォローアップ研修も実施する。	23・24・25養成講座実施、26年度フォローアップ研修実施、27年度養成講座実施	登 録 ボ ラ ン テ ィ ア	・養成(隔年) ・養成人数 ・フォローアップ研修(隔年)	5日間 (フォローアップ 研修)	奇数年度は養成講座、偶数年度はフォローアップ研修を隔年で実施 登録者数 60人	図 書 館 課
47	自主的な読み聞かせボランティアの活動支援	自主的に活動している読み聞かせボランティアを対象に講習会を実施し、読み聞かせの技術の維持向上を支援する。	外部講師による「子どもの読書に関する講習会」を年2回実施	区 民	講習会	2回	28年度目標値を 継続	図 書 館 課
48	「赤ちゃんおはなし会」など乳児向け行事の開催	乳児と保護者が一緒に楽しむことができる、絵本の読み聞かせやふれあい遊び等の「赤ちゃんおはなし会」を定例的に開催する。	25年度より全館で赤ちゃんおはなし会を実施	乳 幼 児	赤ちゃんおはなし会実施回数	全館で 月1回開催	事業を継続	図 書 館 課
49	おはなし会等幼児向け行事の開催	定期的な「おはなし会」とともに、子どもと本をつなぐきっかけとなる各種行事を実施する。	季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」、映画会、工作会など実施	幼 児 ・ 小 学 生	子ども向けおはなし会	全館で 毎週1回開催	事業を継続	図 書 館 課
50	読み聞かせボランティア活用による「親子あそび広場」のプログラムの充実	ボランティア活用による読み聞かせを実施する。	子ども家庭支援センターの「親子あそび広場」利用者向けに概ね毎月2回ずつ実施	乳 幼 児	読み聞かせ回数	45回	225回	子 育 て 支 援 課
51	絵本のプレゼント実施	妊娠中から1歳の誕生日までの妊婦向け事業・講座、育児講座等の参加者やバースデイ訪問などで絵本を配布し、読み聞かせや本に触れる機会を作る。	(23～26年度) ・講座参加者数1,300人 ・バースデイ訪問者数3,140人	妊 婦 ・ 1 歳	・講座参加者、 ・バースデイ訪問者数	1,100人	5,500人	子 育 て 支 援 課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
52	絵本の読み聞かせや行事の実施により、ものがたりや知識に触れる機会の充実	日常の保育の中に絵本の読み聞かせや紙芝居を取り入れ、また、自然を利用した行事を実施することで、想像力を育み、新しい知識を蓄える機会を作る。	全園で実施	園児	読み聞かせや知識の世界に触れる回数	全園で実施	28年度目標値を継続	保育課
53	地域の読書ボランティアの活用	読書ボランティアを活用したり、小・中高校生との読書活動の交流で読書活動を推進する。	・読書ボランティア受入 26年度31回 27年度27回 ・小中高生交流 27年度24回	中学生 区民 高校生	受け入れ交流回数	60回	28年度目標値を継続	保育課
54	保護者による読み聞かせ活動の実施	「おはなしりんご」など各園のおはなし会で、保護者による読み聞かせを実施する。	・「おはなしりんご」年5回実施 ・おはなし会は月1回実施	全園児	実施回数	園により 5～12回	28年度目標値を継続	区立幼稚園

【小学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
45	子どものための文化体験プログラムの実施	アート系NPO 法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催する。また、絵本を活用したワークショップや読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施する。	・区と共に運営しているアート系NPO 法人と協働で子どもの本を題材とした演劇公演を実施 ・読み芝居による鑑賞教室や絵本も取り入れた保育園派遣型文化体験プログラムを毎年、区内保育園16 園程度で実施	小・乳幼児 中学生	参加者数	乳幼児900人、小学生以上の区民2,780人	28年度目標値を継続	文化デザイン課
55	子ども向け郷土資料の作成支援	地域の昔遊びや豊島の子ども文化、昔話を調査・収集し、地域のボランティアの著作・出版活動を支援する。	雑司が谷ルネサンスの会の「絵本雑司が谷いろはかるた」の作成・頒布を支援している。郷土資料館で、長崎地区を題材にした昔話「ちいさい桶」の紙芝居を作成	小学生	随時	随時	地域のボランティア団体の要請に応じた支援を継続	文化デザイン課
56	小学生向け行事の実施	定例的なおはなし会の他、季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」や「映画会」、「工作会」等、子どもと本をつなぐ様々な行事を開催する。	・図書館タンテイを平成23年度以降全館で実施 ・本の福袋、27年度5館で実施	小学生	全館で実施	全館で実施	毎年度実施	図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
57	学校訪問・学級招待・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をするとともに、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	学校訪問や学級招待、職場体験(中学2年)など各種学校サービスの支援を実施	小・中学生	・学校訪問 ・学級招待 ・職場体験	・学校訪問(小)128回 ・学級招待(小)9回 ・職場体験(中)70人・700冊	28年度目標値を継続	図書館課
58	児童読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	22年度に区立図書館全館の児童コーナーに、意見箱と子どもの読書情報交換コーナーを設置	小学生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	28年度目標値を継続	図書館課
59	読書通帳の配布 <新規>	読書通帳を作成し、区立図書館を利用する小中学生を対象に希望者に配布し、読書活動促進のきっかけづくりを行う。	——	小・中学生	区立図書館	区立図書館	事業を継続	図書館課
60	読書の楽しさを伝える各種事業の実施	「子どもスキップ」の事業や放課後子ども教室のプログラムで、読み聞かせやストーリーテリングなどのおはなし会を開催し、読書の楽しさを啓発し、本と結びつけるきっかけづくりを行う。	「子どもスキップ」の事業や放課後子ども教室のプログラムではおはなし会を開催。学童クラブ独自の事業として読み聞かせを実施	小学生	実施施設数	22施設	全てのスキップで実施	子ども課
61	地域の読書ボランティア活用によるおはなし会の開催	子どもスキップや放課後子ども教室のプログラムや事業において、地域の読書ボランティアを受け入れて読み聞かせなどのおはなし会を実施し、読書活動を推進する。	子どもスキップや放課後子ども教室の事業として、地域の読書ボランティアを受け入れて読み聞かせなどのおはなし会を実施	小学生	実施施設数	22施設	全てのスキップで実施	子ども課
62	学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	段階的に導入し、平成25年度に区立小学校22校の全校に配置 3週間で4日配置1日6時間	小学生	配置日数	(区立小学校)3週間で4日配置 1日6時間	22校(区立小学校)週2日	小学導校課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
63	学校図書館への区立図書館司書の活用<新規>	区立図書館の図書館司書(非常勤職員)を区立小・中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	——	小・中学生	小学校配置 中学校配置	・区立小学校21校派遣開始	29年度 区立中学校8校派遣	図書館課 指導課
64	読書習慣の形成	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保と読書活動の習慣の確立を支援する。	・朝読書の実施 ・読書マラソンカードなど、読書量の蓄積が見えるものを活用して啓発 ・栄養士と連携した「お話し給食」を実施	小学生	全校一斉の読書活動の実施	月1校	28年度目標値を継続	小指導 学校課
65	図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	書架整理や図書の貸出管理、推薦図書の紹介など、各校の実態に応じた図書委員会活動を実施	小学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	28年度目標値を継続	小指導 学校課

【中学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
45	子どものための文化体験プログラムの実施	アート系NPO 法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催する。また、絵本を活用したワークショップや読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施する。	・区と共に運営しているアート系NPO 法人と協働で子どもの本を題材とした演劇公演を実施 ・読み芝居による鑑賞教室や絵本も取り入れた保育園派遣型文化体験プログラムを毎年、区内保育園16 園程度で実施	小・乳幼児 中学生	参加者数	乳幼児900人、小学生以上の区民2,780人	28年度目標値を継続	文化デザイン課
66	学校訪問・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をすとも、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	学校訪問や学級招待、職場体験(中学2年)など各種学校サービスの支援を実施	小・中学生	・学校訪問 ・学級招待 ・職場体験	・学校訪問(小)128回 ・学級招待(小)9回 ・職場体験(中)70人・700冊	28年度目標値を継続	図書館課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
67	YA読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	22年度に区立図書館全館のYAコーナーに、意見箱と子どもの読書情報交換コーナーを設置	中学生・高校生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	28年度目標値を継続	図書館課
59	読書通帳の配布 <新規>	読書通帳を作成し、区立図書館を利用する小中学生を対象に希望者に配布し、読書活動促進のきっかけづくりを行う。	——	小・中学生	区立図書館	区立図書館	事業を継続	図書館課
68	YA向け読書活動促進行事の実施 (仕掛け絵本のワークショップ) <新規>	ワークショップを開催して仕掛け絵本の立体的なしくみや紙の絵本の魅力を感じてもらい、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	——	中学生・高校生	ポップアップカードのワークショップ開催	年1回	毎年度1回実施	図書館課
69	学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	段階的に導入し、平成25年度に区立中学校8校の全校に配置 3週間で4日配置1日6時間	中学生	配置日数	3週間で4日配置 1日6時間	8校(区立中学校)週1日	中 指導校課
70	学校図書館への区立図書館司書の活用 <新規>	区立図書館の図書館司書(非常勤職員)を区立小中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	——	小・中学生	小学校配置 中学校配置	・区立小学校21校派遣開始	29年度区立中学校8校派遣	図書館課 指導課
71	読書習慣の確立	朝、学級活動前の10分間の朝読書活動を継続的に実施するなど、読書習慣の確立を支援する。	1時間目の授業への集中度が増し、本に親しむ生徒が増えた。	中学生	全校一斉の読書活動の実施	月1回	28年度目標値を継続	中 指導校課
72	ビブリオバトル等実施による読書活動の促進	授業や図書委員会のイベントとしてビブリオバトル等を実施するなど、読書の感想を伝える場を設定して読書活動の推進と学校図書館利用を促進する。	同級生や友人からの本の紹介により、読書のきっかけや読書の幅がひろがった。	中学生	本を読んで思ったことを伝える授業やイベント等を実施	8校 (区立中学校)	28年度目標値を継続	中 指導校課

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
73	図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	・貸出ランキング表の掲出や図書委員のおすすめの本の展示、POPとの掲示など、学校図書館の企画展を開催 ・休み時間を利用しての読み聞かせを実施	中学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	28年度目標値を継続	中 指 学 導 校 課
74	プライベート読書時間の設定 <新規>	プライベートな時間に、一定の時間や時間帯を「読書の時間」と決めて、読書することを生徒に推奨して読書習慣の形成を促す。	——	中学生	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	28年度目標値を継続	中 指 学 導 校 課

【高校生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
67	YA読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	22年度に区立図書館全館の児童コーナーとYAコーナーに、意見箱と子どもの読書情報交換コーナーを設置	中学生・高校生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	28年度目標値を継続	図 書 館 課
75	YA向け読書活動促進行事の実施(ビブリオバトル) <新規>	仕掛け絵本のワークショップや高校生を対象としたビブリオバトルなど、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	——	中学生・高校生	・ワークショップ ・ビブリオバトル	年1回	毎年度1回実施	図 書 館 課
76	学校訪問によるブックトーク等の実施	高等学校の要請により学校訪問を行い、ブックトークなどで10代に人気のおすすめ本を紹介し、図書館の利用や読書の動機づけを行う。	26年度に都立高校1校で、ブックトークを実施	高校生	学校訪問	高等学校からの要請	高等学校からの要請	図 書 館 課

【特別な支援を必要とする子ども】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
77	点訳・音訳・ 対面朗読 サービスの 実施	障害のある子どもからの申請に基づき、蔵書にないリクエスト資料について、ボランティアによる点訳・音訳・対面朗読サービスを実施する。	①点字図書24タイトル ②デージー図書41タイトル ③点訳絵本は、2タイトルを購入し、3タイトルを点訳研究会で作成した。27年度に2タイトル作成中	生徒・児童・特別な支援を必要とする 保護者・家庭	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書 7 タイトル ②デージー図書 5タイトル ③点訳絵本 2 タイトル	①点字図書 25 タイトル ②デージー図書 35タイトル ③点訳絵本 10 タイトル	図書館課
78	点字図書館 や点訳図書 等の普及・ 啓発	通常学級の子どもの対象に、職場体験等のプログラムで点字図書館の業務内容を組み込んだり、夏休みに開催する点字教室で点字体験をする機会を設けるなどして点字図書館や視覚障害者への理解を深めるきっかけづくりをする。	・区立小学校11校を訪問して、点字体験や点字図書館の事業紹介を実施 ・毎年夏休みに児童YAグループと共催で中央図書館会議室にて子ども点字教室を開講	小・中学生	・学校訪問・学級招待 ・中学生職場体験 ・特別支援学校の職場体験	・小学校 3校 ・中学校 2校 ・特別支援学校 1校	28年度目標値を 継続	図書館課
79	特別な支援 を必要とする 子どものため の読書機会 の提供	区立小・中学校の特別支援学級や大塚ろう学校に学校訪問して、読書のきっかけづくりを行うとともに団体貸出を実施する。	・学校訪問(中学)でブックトークを実施 ・大塚ろう学校へ団体貸出を実施	小・中学校	・学校訪問 ・団体貸出	学校からの要請	28年度目標値を 継続	図書館課
80	マルチメディア デージー活用 による読書支 援 <新規>	区立小・中学校の特別支援学級への団体貸出に、マルチメディアデージーを活用して読書支援を行う。	——	小・中学校	・団体貸出	マルチメディア デージー資料の 収集	団体貸出回数 の拡大	図書館課
81	特別な支援 を必要とする 子どもの読 書活動の充 実	乳幼児発達支援事業の療育活動において、絵本読み聞かせ等の読書活動を実施する。	(22～26年度) 発達支援支援事業 通所指導において読み聞かせやわらべうた、手遊び等を実施	障 害 児	通所指導時の 読み聞かせ回 数	480回	2,400回	子育て支援課

(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策
【乳幼児】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
82	「としょねつと」便の運行	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ交換便を運行して、図書館の図書貸出利用の利便を図り、読書活動を促進する。	・22年度から区立幼稚園に運行を拡大(・区立幼稚園、小・中学校・六大学へ週2回運行)	幼児 ・小・大学生 ・中学生	運行回数	92回	週2回の運行を継続	図書館課
83	団体登録貸出制度による児童書の貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	平成24年度までの4か年で小・中学校向けに団体貸出セットのタイトル数とセット数の充実を図り、貸出の充実	保育園 ・園中・小学生 ・幼稚園	団体貸出回数	・80回 ・1,000回	28年度目標値を継続	図書館課
84	乳幼児向けブックリストの配布	0～2歳児向け、3～6歳児向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、保育園、幼稚園や関係施設に配布して読書活動を啓発し、区立図書館の利用促進に結びつける。	区内保育園、幼稚園、保健所にブックリストを配付	保護者	配付先施設数 (保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所)	88所	28年度目標値を継続	図書館課
85	子ども向け図書館ホームページの充実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	27年1月に「こどものページ」と「10代のためのページ」のホームページをリニューアル	乳幼児 ・高校生 ・小・中学生	特集棚の紹介をする	毎月 (YAは隔月)	28年度目標値を継続	図書館課

【小学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
82	「としよねつと」便の運行	区立幼稚園、区立小・中学校へ交換便を運行して、図書館の図書貸出利用の便を図り、読書活動を促進する。	・22年度から区立幼稚園に運行を拡大(区立幼稚園、小・中学校、六大学へ週2回運行)	幼児・小学生・大学生	運行回数	92回	週2回の運行を継続	図書館課
86	団体登録制度による児童書の貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	平成24年度までの4か年で小・中学校向けに団体貸出セットのタイトル数とセット数の充実を図り、貸出の充実	保育園・中・幼稚園	団体貸出回数	小学校1,000回 中学校24回	28年度目標値を継続	図書館課
87	小学生向けブックリストの配布	小学生向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、区立小学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつける。	区立小学校全校生徒に配付	小学生	区立小学校に配布	区立小学校 全校児童	28年度目標値を継続	図書館課
85	子ども向け図書館ホームページの充実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	27年1月に「こどものページ」と「10代のためのページ」のホームページをリニューアル	乳幼児・高校生・中学生	特集棚の紹介	毎月 (YAは隔月)	28年度目標値を継続	図書館課

【中学生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
82	「とよねつと」便の運行	区立幼稚園、区立小・中学校へ交換便を運行して、図書館の図書貸出利用の利便を図り、読書活動を促進する。	・22年度から区立幼稚園に運行を拡大(区立幼稚園、小・中学校、六大学へ週2回運行)	幼児 ・小 ・大学生 ・中学生	運行回数	92回	週2回の運行を継続	図書館課
86	団体登録貸出制度による児童書の貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	平成24年度までの4か年で小・中学校向けに団体貸出セットのタイトル数とセット数の充実を図り、貸出の充実	保育園 ・園中 ・小学生 ・幼稚園	団体貸出回数	小学校1,000回 中学校24回	28年度目標値を継続	図書館課
87	中高校生向けブックリストの配布	中高校生向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、区立中学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつける。	平成25年度以降毎年度に発行し、毎年度区立中学校全校生徒に配付	中学生	区立中学校に配布	区立中学校 全校生徒	28年度目標値を継続	図書館課
85	子ども向け図書館ホームページの充実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	27年1月に「こどものページ」と「10代のためのページ」のホームページをリニューアル	乳幼児 ・高 小 校 生 ・中 学 生	特集棚の紹介	毎月 (YAは隔月)	28年度目標値を継続	図書館課

【高校生】

No.	事業名	事業内容	第二次計画 取組成果 (22～27年度)	対象	主な指標	目標値 (28年度)	第三次計画 (28～32年度)	課名
87	中高校生向けブックリストの配布	中高校生向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、区立中学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつける。	平成25年度以降毎年度発行し、区立中学校全校生徒に配付	高校生	区立中学校に配布	区立中学校 全校生徒	28年度目標値を 継続	図書館課
85	子ども向け図書館ホームページの充実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書を紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	27年1月に「こどものページ」と「10代のためのページ」のホームページをリニューアル	乳幼児 ・高 小校 ・生 中 学 生	特集棚の紹介	毎月 (YAは隔月)	28年度目標値を 継続	図書館課

第5章 計画の推進に向けて

1 計画の進捗管理

本計画の推進にあたっては、国や都の動向を十分に注視しつつ、区の実情を踏まえながら進めていきます。

本計画の進捗管理については、子どもの読書活動の関係機関で構成される「子ども読書活動推進会議」を中心に行い、各年度において実施状況を把握・点検しつつ、その後の施策の推進を図っていきます。

また、計画の進捗状況については、毎年、区ホームページ等を通じて広く区民に公表していきます。

2 関係機関との連携強化

子ども読書活動の推進には、行政施策だけでは限界があり、地域全体の取り組み、区民や地域団体、地域の大学等との連携・協働が欠かせません。親子読書連絡会などの子どもの読書に関わるボランティア活動をしている団体や区内の大学図書館と情報交換の場を設け、子どもの読書活動の推進に向けて連携・協働を強化します。

また、学校図書館への区立図書館司書の活用など区立図書館と区立小学校・中学校との連携は不可欠です。区立小・中学校図書館を支援する区立図書館司書で構成する「学校図書館支援連絡会（仮称）」を開催して、学校図書館との情報共有と連携の強化を図ります。

3 人材の養成と育成

子どもの読書活動推進のためには、様々なボランティアの活動が重要な役割を担っています。読み聞かせボランティアの活動を定着させるために、ボランティアの養成とフォローアップ研修を継続的に実施します。また、特別な支援を必要とする子どものために、拡大写本、音訳、点訳のボランティアを計画的に養成します。

区においては、子ども読書活動に関する知識や能力向上のため、各種研修や講習会を実施し、子ども読書活動に関わる職員の資質向上を図ります。また、区立図書館では、図書館司書の専門性を高め、子ども読書活動の知識・技能の向上のため、研修や講習会の実施や都立図書館の専門研修等を積極的に活用していきます。

「豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）」審議経過

【策定委員会】

会議名等	開催日	議題
第1回	平成27年5月20日	1. 第二次計画の取組成果 (1) 第二次計画の進捗状況 (2) 重点目標の達成状況 (3) 計画目標の達成状況 2. 第三次計画策定について (1) 国・都・他区の計画の状況 (2) 実態調査及び各課ヒアリングから浮かぶ課題 (3) 第三次計画の構成案 (4) 策定スケジュール
第2回	平成27年11月2日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の骨格について 2. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の構成案について 3. 各課施策（案）について
第3回	平成27年11月19日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の素案について
第4回	平成28年2月5日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の計画案について
第5回	平成28年5月30日	1. パブリックコメントの結果について 2. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の計画策定について

※平成28年3月1日～3月31日の間、パブリックコメント制度に基づく豊島区子ども読書活動推進計画<第三次>（案）への意見の公開募集を行いました。

豊島区子ども読書活動推進計画(第三次)策定委員会委員名簿

職	氏名	職名	備考
委員長	栗原 章	文化商工部長	平成28年3月まで
	小澤 弘一	文化商工部長	平成28年4月から
副委員長	天貝 勝己	教育委員会事務局教育部長	
委員	田邊 栄一	政策経営部長長期計画担当課長	平成28年3月まで
〃	高田 秀和	政策経営部企画課長	平成28年4月から
〃	八巻 規子	区民部地域区民ひろば課長	
〃	小澤 弘一	文化商工部文化デザイン課長	平成28年3月まで
〃	樋口 友久	文化商工部文化デザイン課長	平成28年4月から
〃	關 慎吾	文化商工部学習・スポーツ課長	平成28年3月まで
〃	藤田 力	文化商工部学習・スポーツ課長	平成28年4月から
〃	山根 斎	文化商工部図書館課長	平成28年3月まで
〃	大須賀 裕子	文化商工部図書館課長	平成28年4月から
〃	尾本 由美子	池袋保健所健康推進課長	平成28年3月まで
〃	石丸 雄二	池袋保健所健康推進課長	平成28年4月から
〃	原田 美江子	長崎健康相談所長	平成28年3月まで
〃	荒井 和子	長崎健康相談所長	平成28年4月から
〃	大須賀 裕子	子ども家庭部子ども課長	平成28年3月まで
〃	副島 由理	子ども家庭部子ども課長	平成28年4月から
〃	猪飼 敏夫	子ども家庭部子育て支援課長	
〃	橋爪 力	子ども家庭部保育課長	平成28年3月まで
〃	田邊 栄一	子ども家庭部保育課長	平成28年4月から
〃	兒玉 辰哉	教育委員会事務局教育部庶務課長	
〃	井上 一	教育委員会事務局教育部学務課長	平成28年3月まで
〃	木山 弓子	教育委員会事務局教育部学務課長	平成28年4月から
〃	清野 正	教育委員会事務局教育部指導課長	平成28年3月まで
〃	加藤 勲	教育委員会事務局教育部指導課長	平成28年4月から
〃	鈴木 裕美	池袋幼稚園長	平成28年3月まで
〃	小林 幾子	池袋幼稚園長	平成28年4月から
〃	田淵 貢造	仰高小学校長	平成28年3月まで
〃	門脇 伸也	朝日小学校長	平成28年4月から
〃	高橋 重樹	千川中学校長	平成28年3月まで
〃	山本 聖志	千登世橋中学校長	平成28年4月から

「豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）」審議経過

【作業部会】

会議名等	開催日	議 題
第 1 回	平成 27 年 5 月 20 日	1. 第二次計画の取組成果 (1) 第二次計画の進捗状況 (2) 重点目標の達成状況 (3) 計画目標の達成状況 2. 第三次計画策定について (1) 国・都・他区の計画の状況 (2) 実態調査及び各課ヒアリングから浮かぶ課題 (3) 第三次計画の構成案 (4) 策定スケジュール
第 2 回	平成 27 年 10 月 28 日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の骨格について 2. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の構成案について 3. 各課施策（案）について
第 3 回	平成 27 年 11 月 18 日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の素案について 2. 今後のスケジュールについて
第 4 回	平成 28 年 1 月 25 日	1. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の計画案について
第 5 回	平成 28 年 5 月 19 日	1. パブリックコメントの結果について 2. 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の計画案について

※平成 28 年 3 月 1 日～ 3 月 31 日の間、パブリックコメント制度に基づく豊島区子ども読書活動推進計画<第三次>（案）への意見の公開募集を行いました。

豊島区子ども読書活動推進計画(第三次)策定委員会作業部会員名簿

職	氏名	職名	備考
部会長	山根 齋	文化商工部図書館課長	平成28年3月まで
	大須賀 裕子	文化商工部図書館課長	平成28年4月から
副部会長	元川 正子	文化商工部図書館課図書館経営担当係長	
部会員	熊谷 崇之	政策経営部企画課企画担当係長	
//	唐木田 英二	区民部地域区民ひろば課区民ひろば所長	
//	宮下 あゆみ	文化商工部文化デザイン課文化施策担当係長	
//	小出 友子	文化商工部学習・スポーツ課学習担当係長	
//	白男 川久雄	文化商工部図書館課点字図書館点字指導員	
//	栗原 せい子	池袋保健所健康推進課保健指導係長	平成28年3月まで
//	宮川 玲子	池袋保健所健康推進課健康推進担当係長	平成28年4月から
//	飯野 恵子	長崎健康相談所保健指導係長	平成28年3月まで
//	石井 実芳	長崎健康相談所長崎健康推進担当係長	平成28年4月から
//	山崎 美代香	子ども家庭部子ども課子どもスキップ池袋第三所長	平成28年3月まで
//	斉藤 英子	子ども家庭部子ども課子どもスキップ豊成所長	平成28年4月から
//	石田 裕実子	子ども家庭部子育て支援課西部子ども家庭支援センター長	
//	西澤 暢子	子ども家庭部保育課保育担当係長	平成28年3月まで
//	椎名 宏哉	子ども家庭部保育課保育担当係長	平成28年4月から
//	山口 直子	子ども家庭部保育課池袋第一保育園長	平成28年3月まで
//	中村 恵美子	子ども家庭部保育課要町保育園長	平成28年4月から
//	入澤 昌利	教育委員会事務局教育部庶務課庶務担当係長	
//	宮本 敦史	教育委員会事務局教育部学務課学務担当係長	
//	三田 典子	教育委員会事務局教育部指導課指導主事	平成28年3月まで
//	羽賀 絹恵	教育委員会事務局教育部指導課指導主事	平成28年4月から
//	平 典子	西巣鴨幼稚園主任	平成28年3月まで
//	小林 幾子	池袋幼稚園長	平成28年4月から
//	杉田 綾美	仰高小学校副校長	平成28年3月まで
//	野澤 一代	朋有小学校副校長	平成28年4月から
//	奥 秋直人	西池袋中学校副校長	

用語解説

アルファベット

- OJT（オージェーティー）

On-the-Job Training（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の略。職場で実務をさせることで行う従業員のトレーニングのこと。

- POP（ポップ）

その本の良さを紹介するカード。

- YA（ワイエー）

Young Adult（ヤングアダルト）の略。主に10代の読者を指す。

- RC フェスタ（アールシーフェスタ）

Reading and Communication festa の略。読書活動の推進と英語を通じたコミュニケーション能力の育成を目的として実施。

あ行

- 赤い鳥

鈴木三重吉（現豊島区目白3丁目）により大正7年に創刊された児童雑誌。

- お話し給食

栄養士と学校図書館が連携して、絵本に出てくる食事のリクエストを受けて、給食のメニューとして提供したり、メニューが掲載された本を展示するなどして読書活動に結びつける。

- 親子あそび広場

子ども家庭支援センター内にあり、0歳から就学前の年齢に応じた玩具や広々とした環境の中で、子どもを遊ばせながら情報交換や子育てができる場。

- 音訳

視覚障害者等のために活字資料を音声化すること。

か行

●学習情報センター

学校図書館が持つ機能のうち、児童・生徒の主体的な学習活動の支援や、情報の収集・選択・活用能力を育成するなど、学校教育の中核的な役割を果たす機能を指す。

●学級招待

児童・生徒が区立図書館に来館して、図書館の利用案内・図書館見学・読み聞かせ等のサービスを行う。

●学級文庫

児童・生徒の読書習慣を促すために、学級内に設けられた文庫のこと。

●学校図書標準

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に文部科学省が定めた蔵書数。

●学校訪問

学校からの求めに応じ、区立図書館員が学校に出張をして、図書館の利用案内・読み聞かせ・ブックトーク等のサービスを行う。

●家庭教育学級

子育て期にある保護者の方を対象として、子育てに関する悩みや不安を解決する手が見つけられることのできる講座。お子さんの発達段階に応じて、小学校低学年、小学校高学年、中高生の3コースで、講義やワークショップを開催する事業。

●鬼子母神plus

若年者のライフプラン形成に向けた健康情報や子育て支援情報に関わる書籍やパンフレットなどを充実させた情報発信拠点。書店や各種団体の協力による月替わり展示を実施している。正式な「鬼子母神」の表記は「鬼」の上のツノがない字体。

●区民ひろば

小学校区を基本単位とした地域の活動の拠点。乳幼児から高齢者まで、世代をこえた交流の場となっている。

●子育てひろば

区民ひろば内にある、乳幼児の遊び場や保護者の相互交流の場。

●子ども家庭支援センター

子どもと家族が地域の中で、健康で楽しく生活することができるよう、相談等のサービスを通して支援すると共に、センターを拠点として区と区民が協働して子育て支援を行う場。18歳未満のお子さんや子育て家庭のあらゆる相談に応じるほか、一時預かりなど在宅サービスの提供やケース援助、サークル支援やボランティア育成等を行っている。地域の子育てに関する情報もたくさん持っている、子どもと家庭の問題に関する総合相談窓口。

●子どもスキップ

学校施設を活用して、小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開する事業で、学校の教室、校庭、体育館等を活用して、自主的な参加のもとに遊びをとおして、子どもたちが交流を広げる事業。

●子ども点字教室

小学生を対象とした、点字器を使って点字の打ち方を学び、点字に関する図書等の紹介をする教室。

●子ども福祉研修

区で公立・私立を問わず児童福祉にかかわる職員に必要な知識・技術を習得するために実施している研修。

さ行

●仕掛け絵本

開くと飛び出したり、タグを引くと動いたりする仕掛けがある絵本。

●ジャンプ東池袋・ジャンプ長崎

主な利用対象者を中高生等とした児童厚生施設(児童館)。利用は0歳から18歳未満の児童と高等学校に在学する者とその保護者

●ストーリー・テリング

語り手が物語を覚えて語ること。素話(すばなし)ともいう。

た行

● 団体貸出

区内教育福祉関係の団体に向けて、一度に多くの図書の貸出しができるサービス。

● 団体貸出セット

小・中学校での調べ学習を支援することを目的に、テーマ別で作成した本のセット（1セット40冊）。

● デイジー

デイジー(DA I S Y) Digital Accessible Information SYstem の略。デジタル録音図書の国際標準規格。この規格に沿って製作されるものをデイジー図書という。任意のページや章に移動することができる。音声データのみ音声デイジー図書、テキストデータのみ音声ソフトと同期できるテキストデイジー図書、音声・テキスト・画像が同期するマルチメディアデイジー図書がある。

● データベース

(コンピュータによる情報処理で)蓄積・検索・更新などに便利のように整理された情報の集まり。

● 点字図書館

厚生労働省認可の施設であり、視覚障害者向けに点字図書・録音図書の製作・貸出等を行なう。

● 点訳

文字などの情報を点字にすること。点字図書は点字で書かれた図書のこと。点訳絵本は点字を打ったり、絵の形に切った透明なシートを絵本に貼付したもの。

● 読書通帳

図書の貸出履歴を利用者が自分で記録する通帳。金融機関通帳のように機械に挿入することで印字する形式もある。

● 読書ボランティア

子ども家庭支援センター親子遊びひろばの利用者向けに絵本や紙芝居の読み聞かせをする地域のボランティア。

● 読書マラソンカード

読書の推奨を目的として、1年間を通して読書した累積ページ数を記録して、認定賞を授与する。区立中学校の一部で実施している。

- **図書館タンテイ**

区立図書館で実施している、図書館内のクイズに答えて「図書館タンテイ」を目指すという参加型のイベント。

- **としょねっと便**

区立図書館と区内六大学図書館及び区立幼稚園、小・中学校への図書資料の貸出を効率的に運搬する定期便。

は行

- **バースデイ訪問**

1歳の誕生日のお祝いに子育て相談員が訪問する事業。

- **ビブリオバトル**

テーマに沿って選んだ本をバトラーが5分間で紹介しあい、観覧者が最も読みたくなった本に投票し、チャンプ本を決める。知的書評合戦とも呼ばれる。

- **ブックトーク**

ある主題に沿って本を紹介するもの。聴き手の発達段階に合わせさまざまなジャンルの本を選び、一部あらすじを紹介するなど、読書興味を喚起しようとするもの。

- **ブックリスト**

本を紹介したり薦めたりするために、ある基準で選んだ本の目録。

- **放課後子ども教室**

地域の子どもたちが放課後や学校休業日に、安全・安心に活動できる環境整備を目的に、地域のかたがたの協力を得て、学習、スポーツ、文化、地域交流などの活動を実施している「子どもスキップ」と連携している教育委員会の事業。

- **ポップアップカード**

開くと立体的に飛び出すように作られたカード。

ま行

●マルチメディアデイジー

音声デイジーのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ（同期）して出力されるもの。パソコンを使って利用する。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できるデジタル図書。

ら行

●レファレンス

利用者が求める情報そのものや、必要な資料を図書館員が調査し提供するサービス。

●録音図書

図書等の活字資料を音訳し、録音したもの。カセットテープに録音したテープ図書やデジタル録音したデイジー図書がある。デイジー図書はCDでの形態で貸出し、専用の再生機やパソコンで再生する。

わ行

●ワークショップ

専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場。演劇・美術・行政など、さまざまな分野において行われる参加型講習会。創作集会。

<各図書館のキャラクター紹介>



中央図書館
コアちゃん



駒込図書館
こまちゃん



巣鴨図書館
じぞうくん



上池袋図書館
カミィ



池袋図書館
ふくろうくん



目白図書館
ムッシュ・メジロ



千早図書館
ちはやちゃん



雑司が谷
図書貸出コーナー
よむぞうくん

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三十二月十二日法律 第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑

に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことのできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもへの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）

発行 平成 28 年 5 月
豊島区 文化商工部図書館課
〒170-8442
豊島区東池袋 4-5-2
ライズアリーナビル 4・5 階
TEL 03 (3983) 7861

